

Intel® Optane™ Memory and Storage Management メンテナンスガイド

商標

Intel®、Intel ロゴ、およびその他の Intel のマークは、Intel Corporation またはその子会社のアメリカ合衆国およびその他の国/地域における商標または登録商標です。

Optane は米国 Intel Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft とそのロゴおよび、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

なお、本文には登録商標や商標に(TM)、(R)マークは記載しておりません。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NEC の許可なく複製、改変などを行うことはできません。
4. 本書の内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. 運用した結果の影響については、4 項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。

はじめに

本書は、「Intel Optane Memory and Storage Management」について説明します。

なお、本書の内容は、オペレーティングシステムの機能や操作方法について十分に理解されている方を対象に記載しています。オペレーティングシステムに関する操作方法や不明点については、それぞれのオンラインヘルプやマニュアルを参照してください。

目次

概要.....	5
Intel Optane Memory and Storage Management とは	5
サポートするボリュームタイプ	5
動作環境	5
ハードウェア	5
ソフトウェア	5
注意事項	6
制限事項	9
Intel Optane Memory and Storage Management	10
起動.....	10
メニュー.....	11
管理.....	11
Create RAID Volume	13
インテル Optane メモリー	13
パフォーマンス.....	14
設定.....	15
情報.....	16
スベア機能.....	16
ボリュームの作成.....	17
ボリュームを作成する	17
追加ボリュームの作成	22
ボリュームの初期化	25
ボリュームサイズの増加	29
ボリュームの削除.....	32
ボリューム名の変更	35
キャッシュモードの変更.....	38
キャッシュモードをライトバックに変更	42
メール通知を有効にする	47
障害通知	50
障害通知	50
通知メッセージ	50
改版履歴	51

概要

Intel Optane Memory and Storage Management とは

Intel Optane Memory and Storage Management は、RAID ボリュームの管理を行うためのアプリケーションです。Intel Optane Memory and Storage Management を使用することで、ストレージ構成の表示、作成、および 管理をすることができます。

サポートするボリュームタイプ

Intel Optane Memory and Storage Management がサポートするボリュームタイプは、RAID1 です。

動作環境

ハードウェア

- Intel RST を実装した本体装置

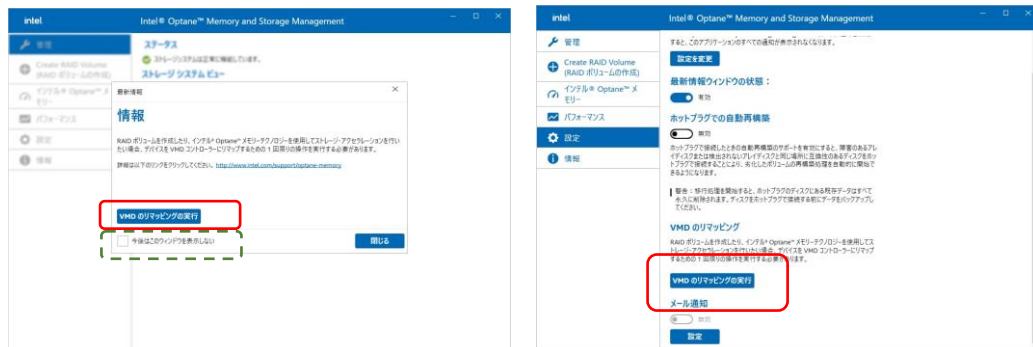
ソフトウェア

- Windows11

注意事項

・VMD リマッピング機能の注意事項

NVMe SSD 搭載モデルの装置では、Intel Optane Memory and Storage Management の VMD リマッピング機能をご使用できません。非サポート機能となりますので使用しないでください。最新情報の画面が出た場合は、「今後はこのウィンドウを表示しない」にチェックを入れて、閉じてください。

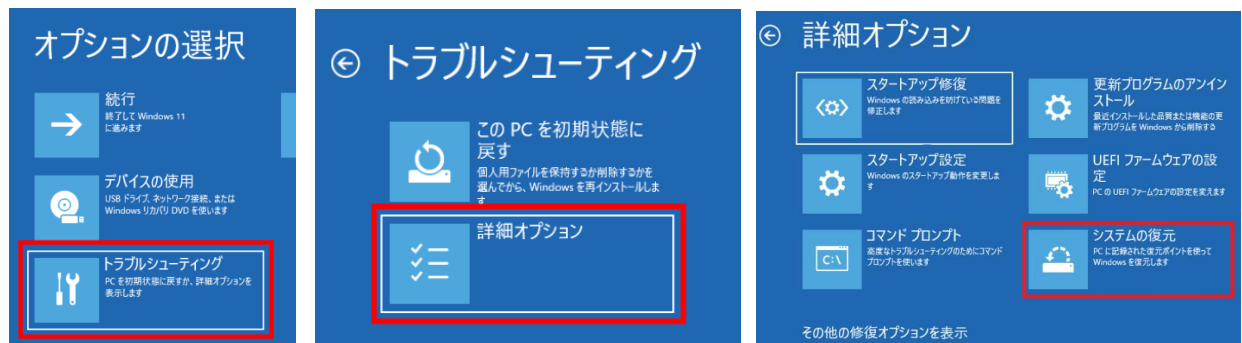


誤って VMD リマッピング機能を使用しますと、ブルー画面(STOP エラー画面)となる場合があります。この場合、以下の方法で復旧してください。

- a) ブルー画面(STOP エラー画面)が発生し、自動的に再起動されると自動修復の画面が表示されます。【詳細オプション】を選択します。



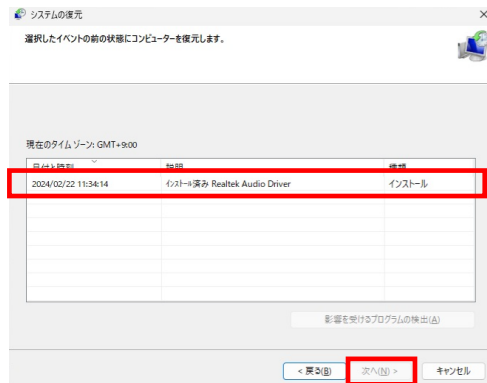
- b) 【トラブルシューティング】-【詳細オプション】-【システムの復元】を選択します。



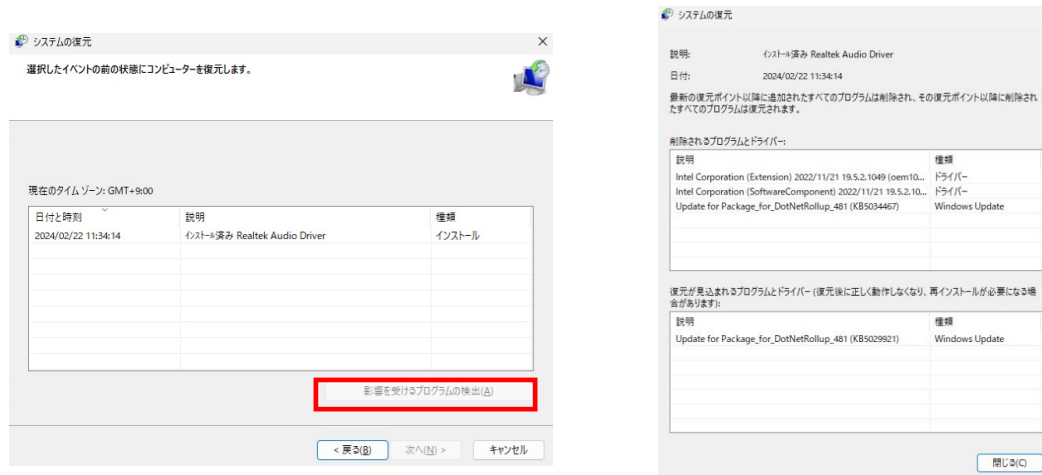
- c) 「システムの復元」画面が表示されるので、「次へ」を選択します。



- d) 「選択したイベントの前の状態にコンピューターを復元します。」と表示されるので、VMD リマッピング実施前の復元ポイントを選択して、[次へ] を選択します。



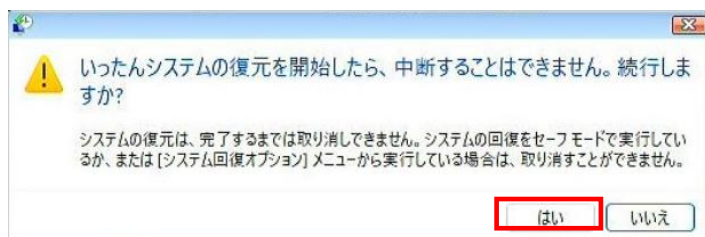
- e) 「影響を受けるプログラムの検出」を選択すると、復元ポイントによって影響を受けるプログラム／ドライバーを確認することができます。



- f) 「復元ポイントの確認」と表示されるので、内容を確認し、[完了] を選択します。



- g) 「いったんシステムの復元を開始したら、中断することはできません。続行しますか?」と確認メッセージが表示されるので、[はい] を選択します。



- h) 「システムの復元は正常に完了しました。」画面が表示されるので、[再起動] を選択します。

- i) 再起動後、デスクトップ画面が起動し、Windows が正 常に起動しているか確認します。
- j) 復元ポイントによっては、ドライバーが削除されますので、バックアップ Disc から Starter Pack を再適用してください。

以上で操作は完了です。

・メール通知機能の注意事項

- メール通知機能をご使用時にメール通知を受信した場合は、メール内容だけでなく、Intel Optane Memory and Storage Management 画面にて RAID 状況をご確認ください。
- メール通知機能は、Intel Optane Memory and Storage Management 画面での RAID 状況確認が必要となるため推奨しません。

制限事項

制限事項はありません。

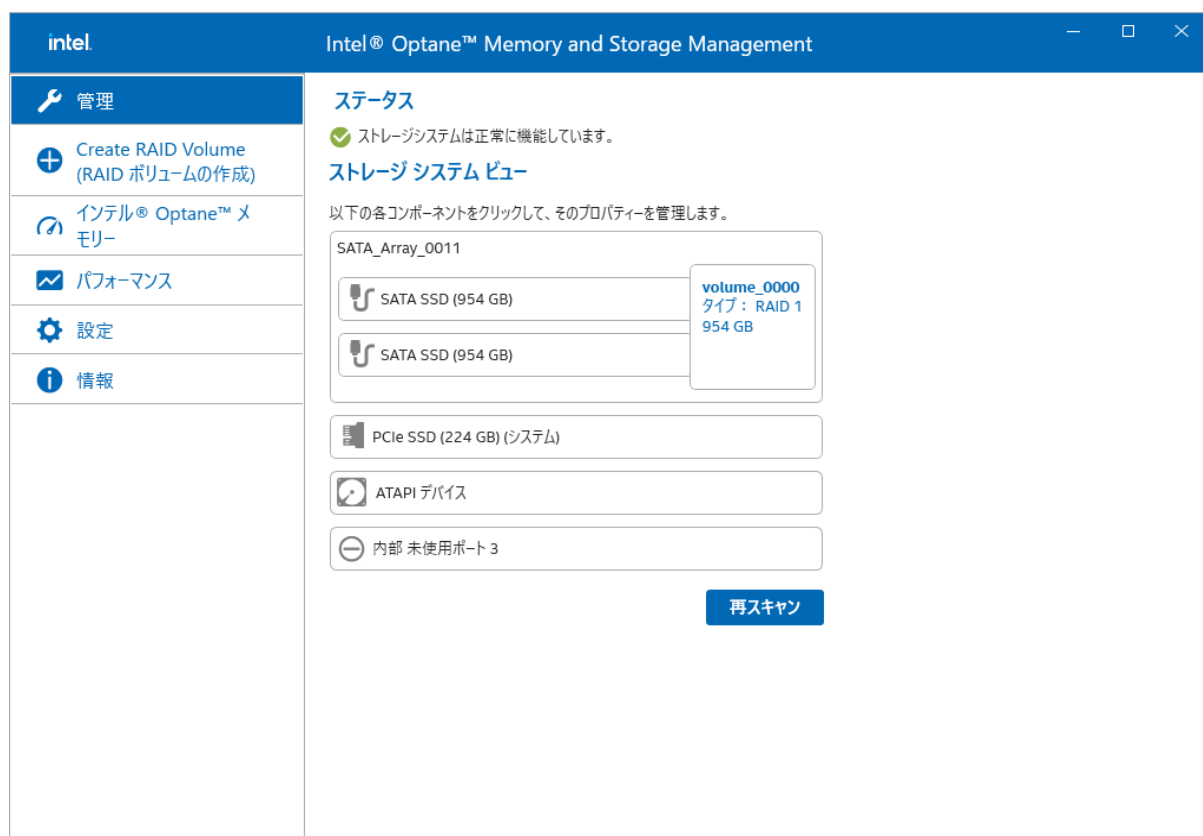
Intel Optane Memory and Storage Management

起動

Intel Optane Memory and Storage Management を起動するには、Windows の[スタート]メニューを開き、[すべてのアプリ]→[Intel Optane Memory and Storage Management]の順に選択します。

アプリケーションにアクセスして機能を利用するには、管理者として実行を選択する必要があります。これには、管理者アカウントでの使用が含まれます。

GUI が起動して[管理]メニューが表示されます。



メニュー

Intel Optane Memory and Storage Management は、「管理」、「Create RAID Volume」、「インテル Optane メモリー」、「パフォーマンス」、「設定」、「情報」のメニューがあります。

管理

ストレージシステムとコンポーネントの状態を表示し、アクションを実行します。

- [ステータス]は、コンピューターのストレージシステムのステータスを表示します。
- [ストレージシステムビュー]は、Intel RST によって制御されているコンポーネントを表示します。
- [再スキャン]を選択すると、ストレージビューが最新の状態に更新されます。

intel Intel® Optane™ Memory and Storage Management

管理

- Create RAID Volume (RAID ボリュームの作成)
- インテル® Optane™ メモリー
- パフォーマンス
- 設定
- 情報

ステータス

✓ ストレージシステムは正常に機能しています。

ストレージシステムビュー

以下の各コンポーネントをクリックして、そのプロパティを管理します。

SATA_Array_0024

- SATA SSD (954 GB)
- SATA SSD (954 GB)

volume_0000
タイプ: RAID 1
954 GB

PCIe SSD (224 GB) (システム)

ATAPI デバイス

内部 未使用ポート 3

再スキャン

表示されているコンポーネントを選択すると、関連する詳細情報とアクションを表示します。
コンポーネントの右に表示されたメニュー内からアクションを選択すると、アクションを実行します。

intel

Intel® Optane™ Memory and Storage Management

管理

Create RAID Volume
(RAID ボリュームの作成)

インテル® Optane™ メモリー

パフォーマンス

設定

情報

ステータス

✔ ストレージシステムは正常に機能しています。

ストレージシステム ビュー

以下の各コンポーネントをクリックして、そのプロパティを管理します。

SATA_Array_0024

SATA SSD (954 GB)

SATA SSD (954 GB)

PCIe SSD (224 GB) (システム)

ATAPI デバイス

内部 未使用ポート 3

再スキャン

volume_0000

タイプ: RAID 1
954 GB

volume_0000

ステータス: 正常
システムボリューム: いいえ
初期化: いいえ
[ボリューム名の変更](#)
[ボリュームの削除](#)
[初期化](#)
タイプ: RAID 1
[タイプの変更](#)
サイズ: 954 GB
書き込みキャッシュバッファのフラッシュ:
☒ 有効
キャッシュモード: 読み取り専用
[キャッシュモードの変更](#)
データ ストライプ サイズ: 64 KB
物理セクターサイズ: 512 Bytes
論理セクターサイズ: 512 Bytes

Create RAID Volume

RAID ボリュームを作成します。

詳しくは、[\[ボリュームを作成する\]](#)を参照してください。

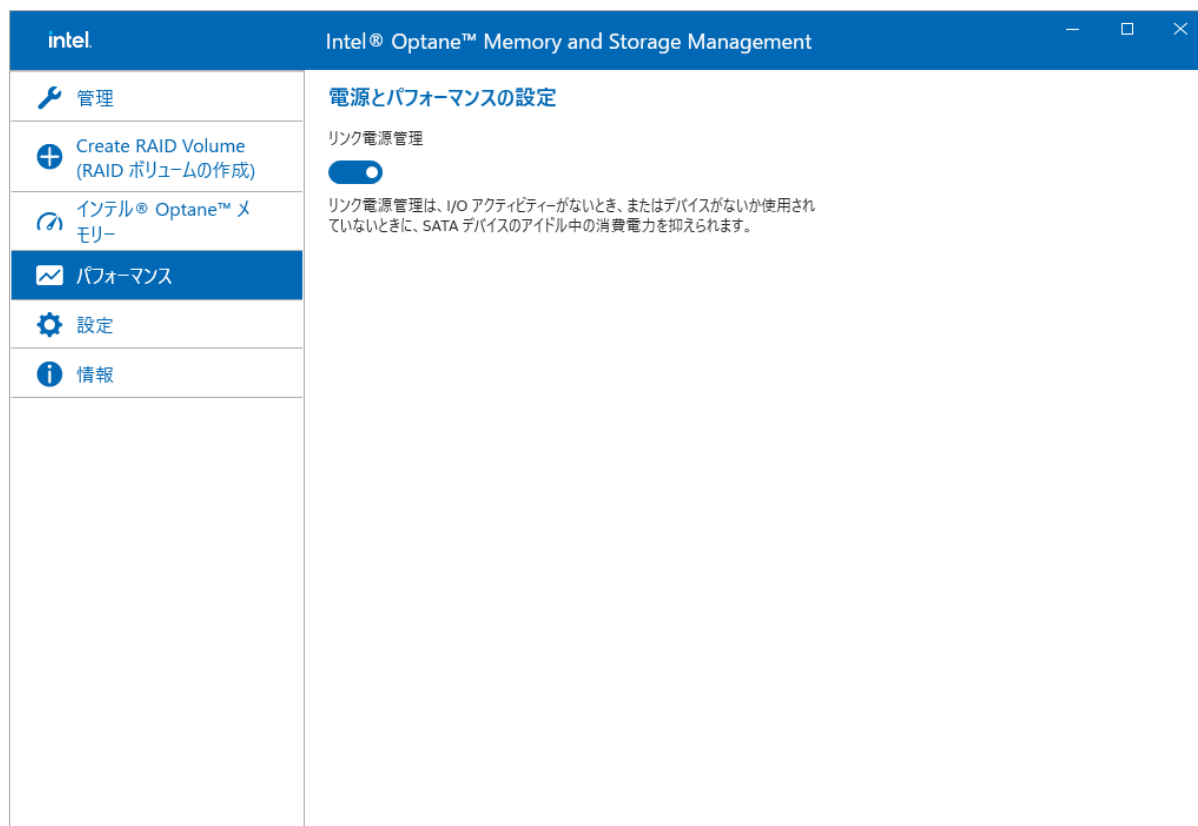
The screenshot shows the 'Create RAID Volume (RAID ボリュームの作成)' window in the Intel Optane Memory and Storage Management application. The left sidebar contains navigation options: '管理' (Management), 'Create RAID Volume (RAID ボリュームの作成)' (selected), 'インテル® Optane™ メモリー' (Intel® Optane™ Memory), 'パフォーマンス' (Performance), '設定' (Settings), and '情報' (Information). The main area is titled 'Create RAID Volume (RAID ボリュームの作成)' and includes a '名前:' (Name) field with the value 'volume_0001'. Below this, there are two sections: 'コントローラーの選択:' (Controller Selection) with radio buttons for 'PCIe' (selected) and 'SATA', and 'ボリュームタイプの選択:' (Volume Type Selection) with radio buttons for '最適化されたディスクのパフォーマンス (RAID 0)', 'リアルタイム データ保護 (RAID 1)', '効率的なデータのホストと保護 (RAID 5)', and '均衡のとれたパフォーマンスとデータ保護 (RAID 10)'. A '次へ' (Next) button is located at the bottom right of the main area.

インテル Optane メモリー

この機能は非サポートです。

パフォーマンス

SATA デバイスのリンク電源管理の有効/無効を設定します。



設定

Intel Optane Memory and Storage Management アプリケーションの設定を変更します。
以下の設定をします。

- 通知設定
 - 最新情報ウィンドウの状態
 - ホットプラグでの自動再構築
 - メール通知
- 詳しくは、[[メール通知を有効にする](#)]を参照してください。



情報

Intel Optane Memory and Storage Management アプリケーションの各種情報を表示します。

intel

管理

Create RAID Volume
(RAID ボリュームの作成)

インテル® Optane™ メモリー

パフォーマンス

設定

情報

Intel® Optane™ Memory and Storage Management

製品バージョン: 19.0.1037.0
ドライバのバージョン: 19.5.1.1040
Copyright © Intel® Corporation
ヘルプとサポートが必要な場合は、次の場所にアクセスしてください。
<http://intel.com/support/optane-memory>

その他のコンポーネント

NLog for .NET Framework 4.5
バージョン: 4.7.10+8142cd035d2c212fd82a4eb0081aed68da713b9e
Copyright (c) 2004-2021 NLog Project - <https://nlog-project.org/>
BSD 3-clause "New" or "Revised" License [全文の表示](#)

Autofac
バージョン: 4.9.4+7eab8edf0cff0457f0a942ef65274b330352e731
Copyright © 2015 Autofac Contributors
MIT License [全文の表示](#)

Json.NET
バージョン: 13.0.1+ae9fe44e1323e91bcbdd185ca1a14099fba7c021f
Copyright © James Newton-King 2008
MIT License [全文の表示](#)

Namotion.Reflection
バージョン: 1.0.23
Copyright © 2019 Rico Suter
MIT License [全文の表示](#)

NJson Schema
バージョン: 10.4.5
Copyright © 2016 Rico Suter
MIT License [全文の表示](#)

スペア機能

スペア機能は非サポートです。

ボリュームの作成

ボリュームの作成における Intel Optane Memory and Storage Management の利用方法を説明します。



注記:

[ボリュームを作成するためには、同じコントローラーに接続された複数のドライブが必要です。]

ボリュームを作成する

次の手順でボリュームを作成します。

1. 左アイコンから[Create RAID Volume]メニューを選択します。

- [名前:]でボリュームの名前を指定します。
- [コントローラーの選択:]からボリュームを作成するコントローラーを選択します。



注記:

[コントローラーの選択:]では、ボリュームを作成可能なコントローラーを選択できます。

- [ボリュームタイプの選択:]から作成するボリュームのボリュームタイプを選択します。



注記:

サポートするボリュームタイプは、RAID1 です。

- [次へ]を選択して先に進みます。

2. 次のページで以下の設定をします。

- [アレイディスクを選択:]で利用するドライブのチェックボックスにチェックを入れます。
- [ボリュームサイズ:]でボリュームのサイズを確認します。
[アレイの割り当て:]のスライダーを使用して任意のサイズに変更します。
- [ボリュームの初期化]を選択すると、ボリューム作成時にボリュームを初期化します。
- [次へ]を選択して先に進みます。

intel Intel® Optane™ Memory and Storage Management

管理

Create RAID Volume (RAID ボリュームの作成)

インテル® Optane™ メモリー

パフォーマンス

設定

情報

Create RAID Volume (RAID ボリュームの作成)

アレイディスクを選択:

☒ SATA ディスクの場所: コントローラ 2, ポート 0 (954 GB)

☒ SATA ディスクの場所: コントローラ 2, ポート 1 (954 GB)

選択したディスクの 1 つからのデータを保持しますか?

☒ いいえ

ボリューム サイズ: 954 GB

アレイの割り当て: 100%

指定された構成

954 GB

954 GB

volume_0000

タイプ: RAID 1

☐ ボリュームのライトバック キャッシュの有効化

☐ ボリュームの初期化

戻る 次へ



注記:

[ボリュームのライトバックキャッシュの有効化]は、ボリューム作成後に設定可能です。
詳しくは、[\[キャッシュモードをライトバックに変更\]](#)を参照してください。

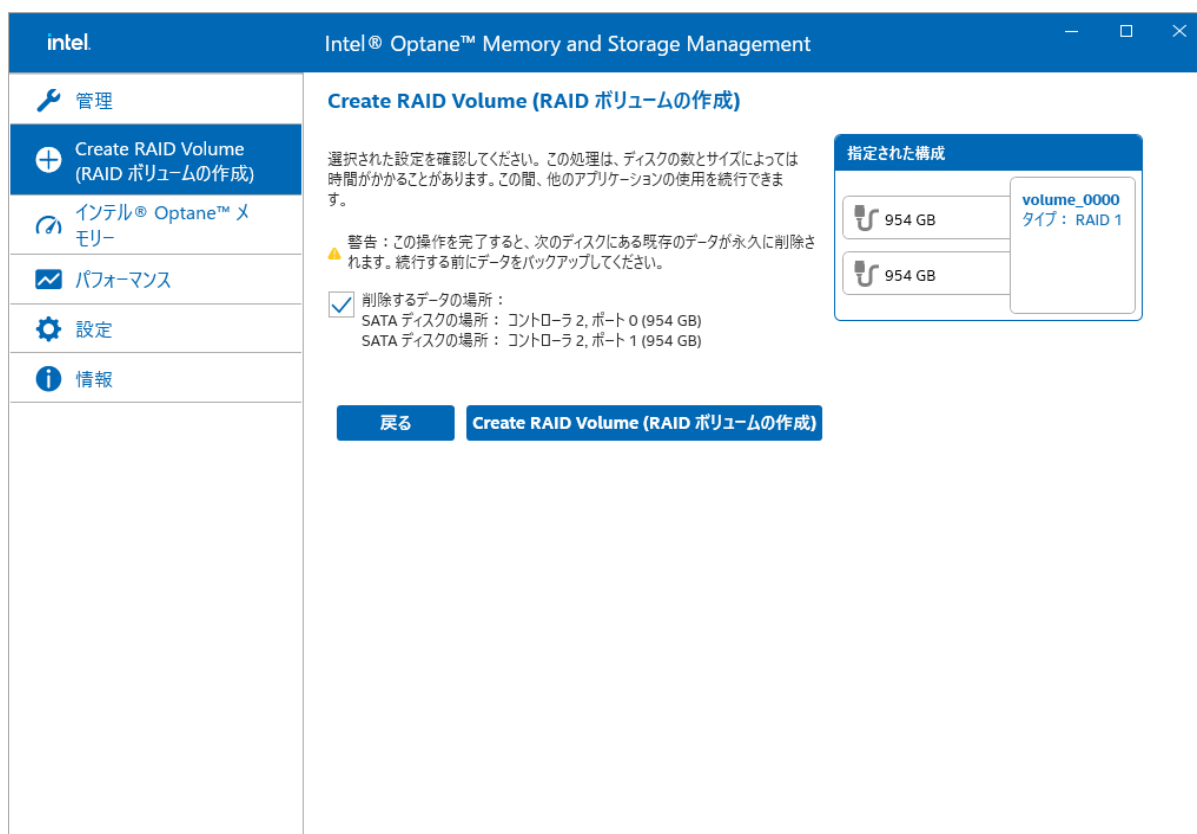


注記:

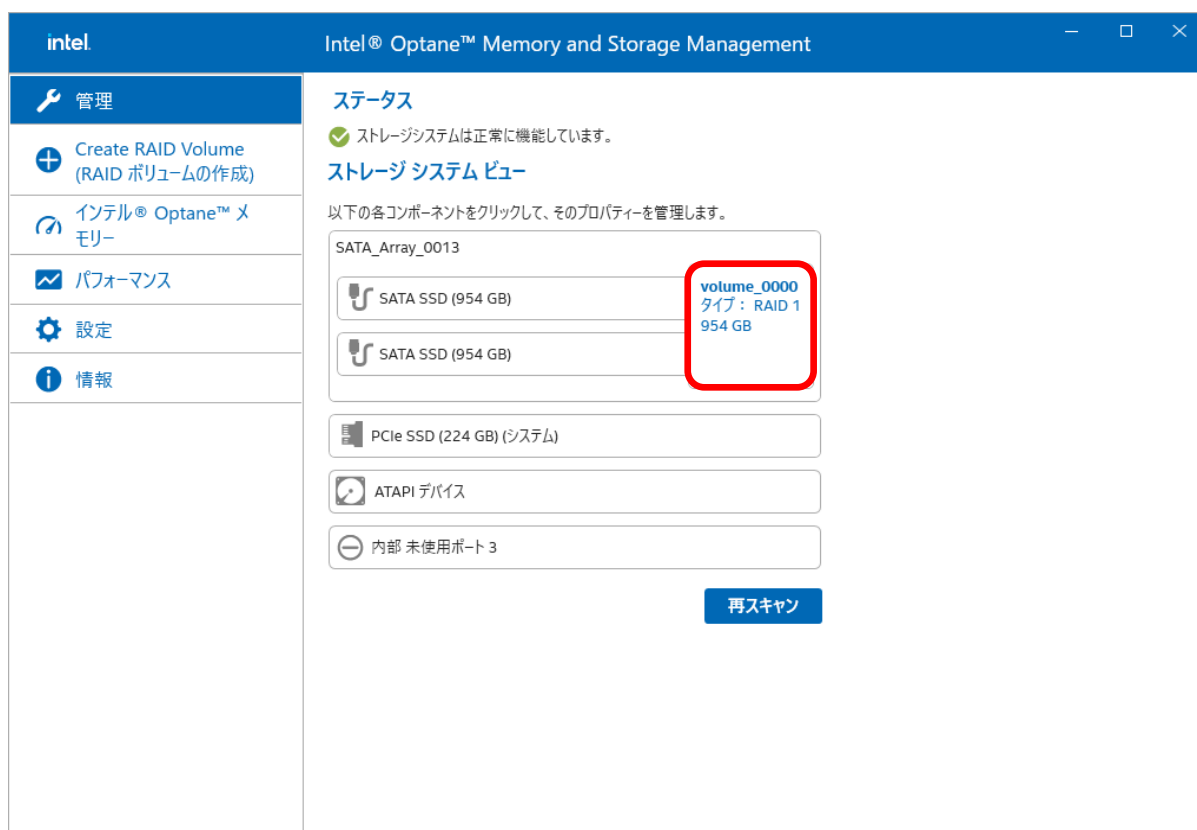
[ボリュームの初期化]を実行した場合、ディスク容量に応じて完了までの時間が変わります。
(目安)

- ・512GB SSD : 約 4 時間
- ・1TB SSD : 約 8 時間

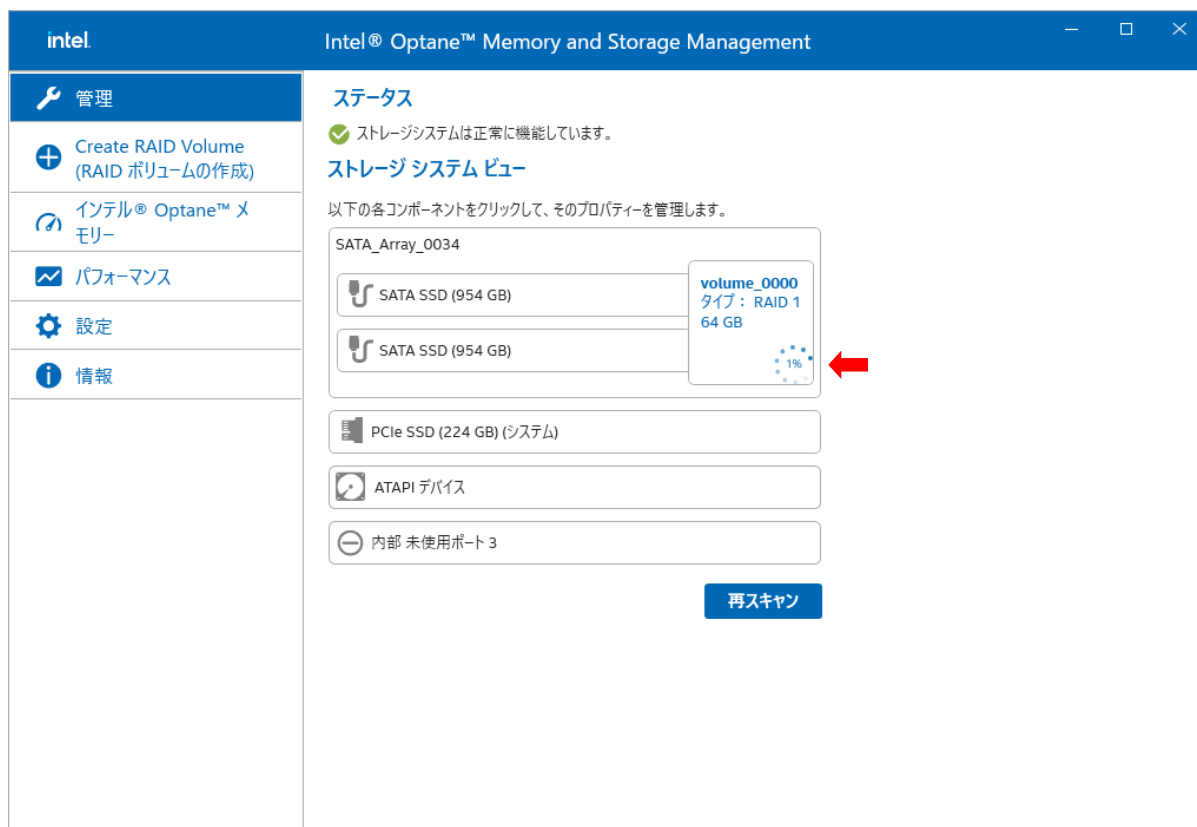
3. ボリュームの設定を確認します。
[削除するデータの場所:]を確認して、チェックボックスにチェックを入れます。
その後、[Create RAID Volume]を選択してボリュームを生成します。



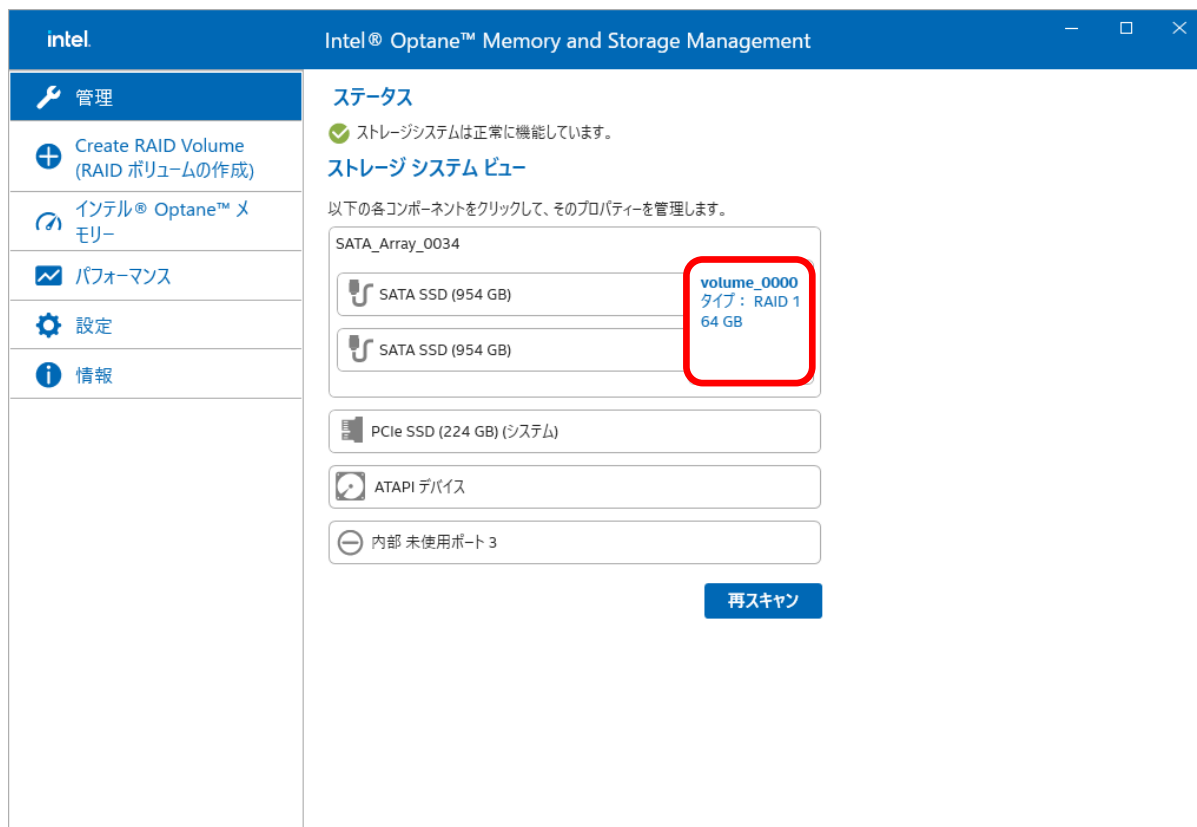
4. GUI が[管理]メニューに遷移します。新しいボリューム(赤枠部分)が表示されます。



5. 手順 2 でボリュームの初期化を選択した場合、初期化の進捗が表示されます(赤矢印部分)。



6. 初期化が完了したことを確認するには、作成したボリューム(赤枠部分)を選択します。



7. [初期化:]が[はい]になっていることを確認します(赤矢印部分)。

The screenshot displays the Intel Optane Memory and Storage Management interface. On the left is a navigation menu with options: 管理 (Management), Create RAID Volume (RAID Volume Creation), インテル® Optane™ メモリー (Intel® Optane™ Memory), パフォーマンス (Performance), 設定 (Settings), and 情報 (Information). The main area is titled 'ステータス' (Status) and 'ストレージ システム ビュー' (Storage System View). It shows the status of the storage system as '正常' (Normal) and lists the components: SATA_Array_0034 (containing two 954 GB SATA SSDs in RAID 1), PCIe SSD (224 GB) (System), ATAPI デバイス (Device), and 内部 未使用ポート 3 (Internal Unused Port 3). A 'volume_0000' (64 GB, RAID 1) is highlighted. A detailed view of 'volume_0000' is shown on the right, listing its status as '正常' (Normal), system volume as 'いいえ' (No), and '初期化: はい' (Initialize: Yes) with a red arrow pointing to it. Other details include RAID 1 type, 64 GB size, write-back cache (有効/有効), read-only cache mode, and 64 KB data stripe size.

intel Intel® Optane™ Memory and Storage Management

管理

Create RAID Volume (RAID ボリュームの作成)

インテル® Optane™ メモリー

パフォーマンス

設定

情報

ステータス

✓ ストレージシステムは正常に機能しています。

ストレージ システム ビュー

以下の各コンポーネントをクリックして、そのプロパティを管理します。

SATA_Array_0034

SATA SSD (954 GB)

SATA SSD (954 GB)

PCIe SSD (224 GB) (システム)

ATAPI デバイス

内部 未使用ポート 3

再スキャン

volume_0000

volume_0000

タイプ: RAID 1

64 GB

書き込みキャッシュバッファのフラッシュ:

有効

キャッシュモード: 読み取り専用

データストライプサイズ: 64 KB

物理セクターサイズ: 512 Bytes

論理セクターサイズ: 512 Bytes

ステータス: 正常

システムボリューム: いいえ

初期化: はい

ボリューム名の変更

ボリュームの削除

ボリュームの検証

タイプ: RAID 1

サイズ: 64 GB

キャッシュモードの変更

追加ボリュームの作成

次の手順で、既存のアレイにボリュームを追加します。

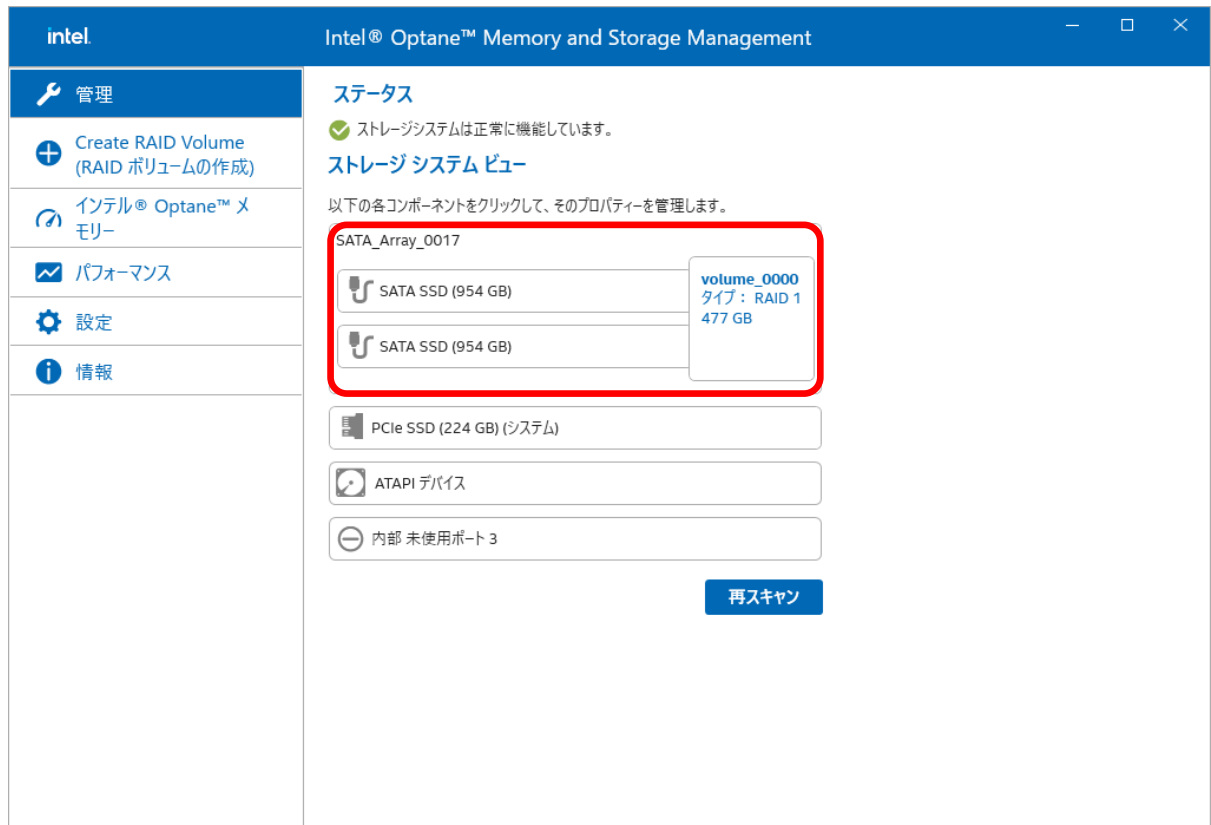


注記:

追加できるボリュームの数は、1つです。

追加ボリュームは、サイズ指定できません。残りの使用可能な容量でボリュームを追加します。

1. **[管理]**メニューから、ボリュームを追加したいアレイ（赤枠部分）を選択します。



2. アレイの右に表示されたメニュー内から[追加ボリュームの作成](赤矢印部分)を選択します。

intel Intel® Optane™ Memory and Storage Management

管理

Create RAID Volume (RAID ボリュームの作成)

インテル® Optane™ メモリー

パフォーマンス

設定

情報

ステータス

✓ ストレージシステムは正常に機能しています。

ストレージ システム ビュー

以下の各コンポーネントをクリックして、そのプロパティを管理します。

SATA_Array_0017

SATA SSD (954 GB)

SATA SSD (954 GB)

volume_0000
タイプ: RAID 1
477 GB

SATA_Array_0017

volume_0000
サイズ: 1908 GB
使用可能な容量: 953 GB
[追加ボリュームの作成](#)
データディスクのキャッシュ: 有効

PCIe SSD (224 GB) (システム)

ATAPI デバイス

内部 未使用ポート 3

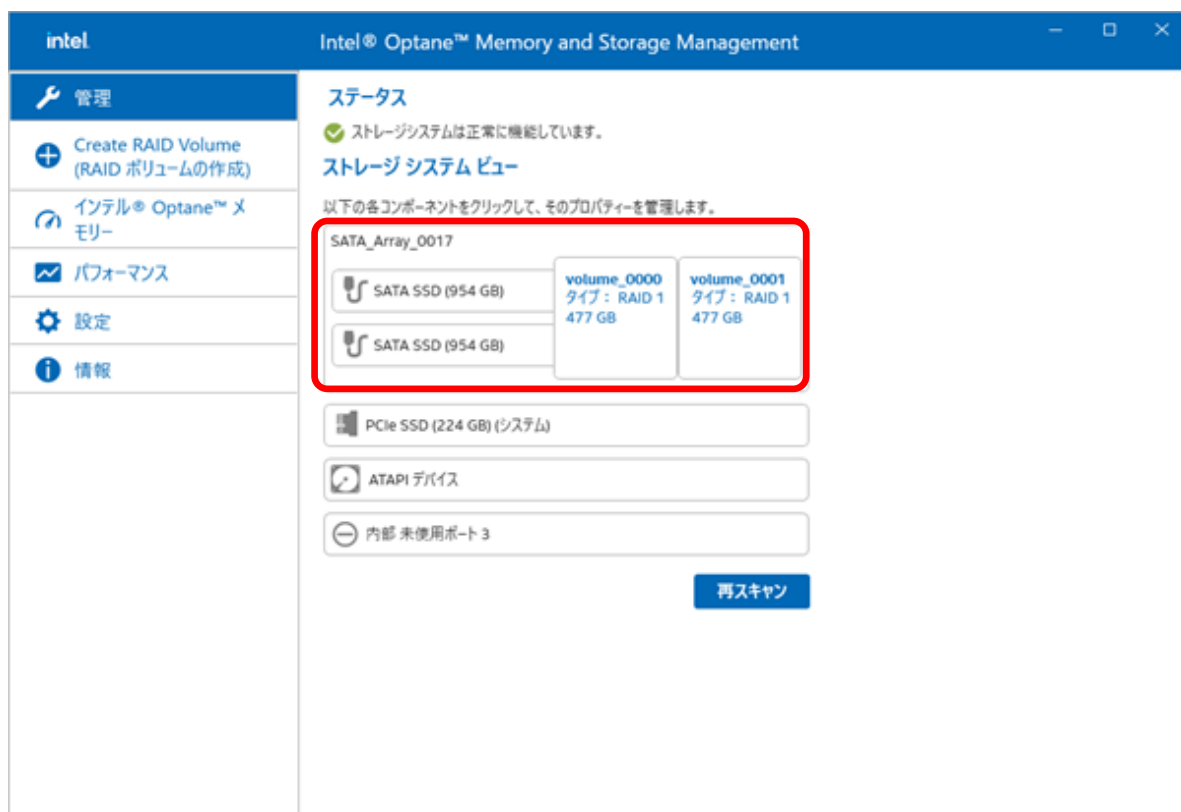
再スキャン

3. 作成したいボリュームの設定をします。

- [名前:]でボリュームの名前を指定します。
- [ボリュームタイプの選択:]から作成するボリュームのボリュームタイプを選択します。
- [Create RAID Volume] を選択してボリュームを生成します。



4. GUI が[管理]メニューに遷移します。新しいボリュームが表示されます。



ボリュームの初期化

次の手順で、ボリュームを初期化します。



注記:

RAID1 でのみ、ボリュームの初期化が可能です。



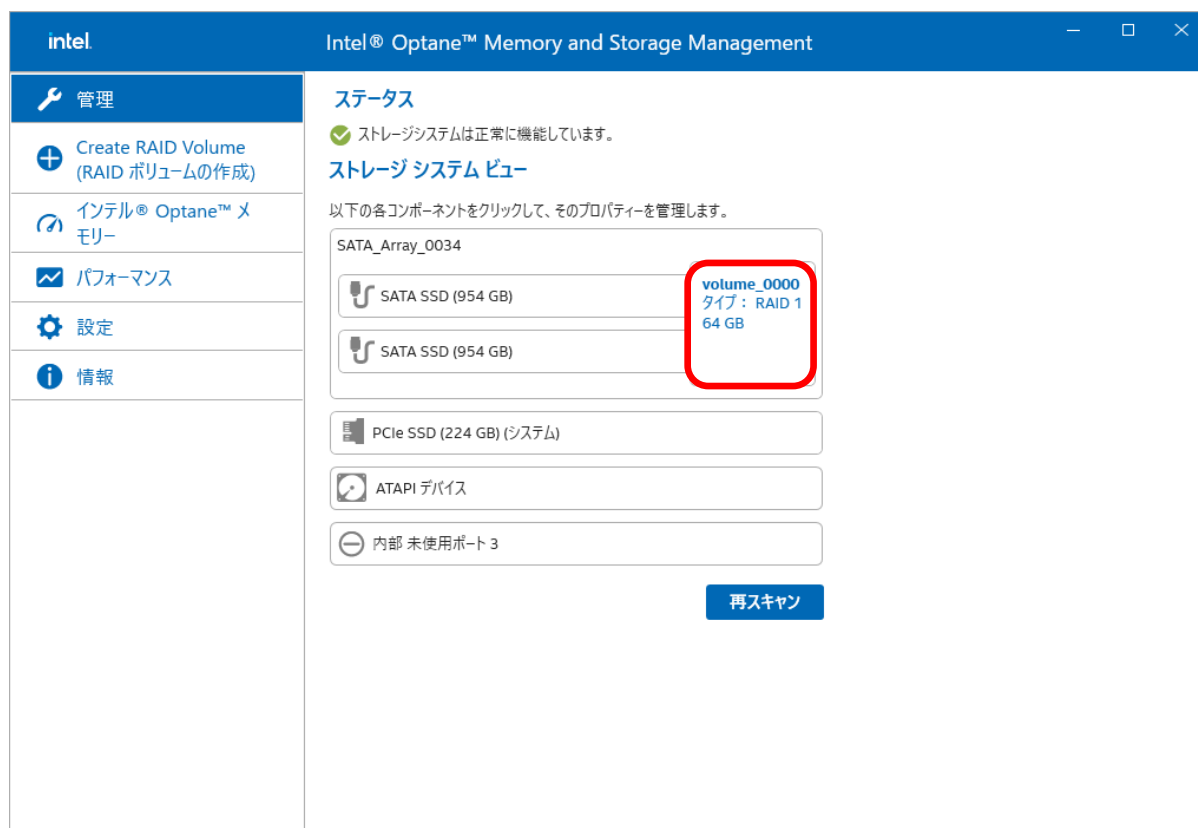
注記:

[ボリュームの初期化]を実行した場合、ディスク容量に応じて完了までの時間が変わります。
(目安)

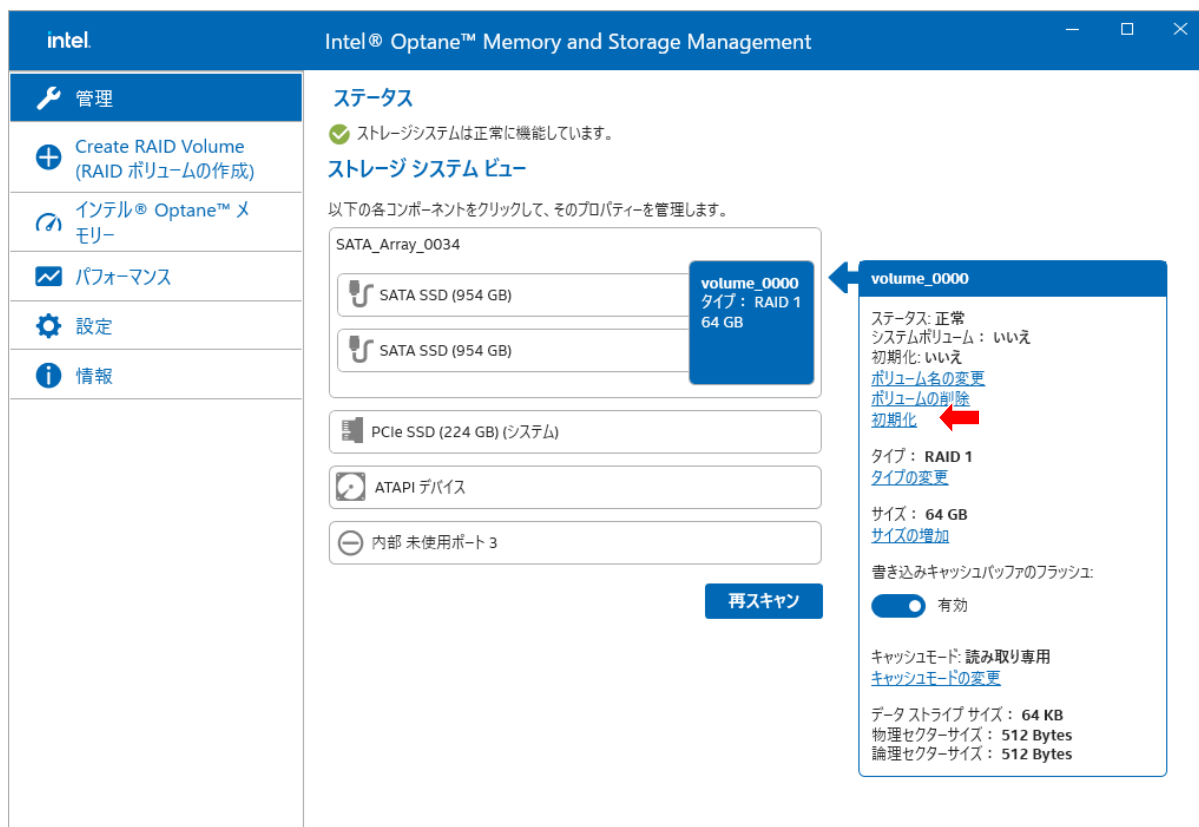
・512GB SSD : 約 4 時間

・1TB SSD : 約 8 時間

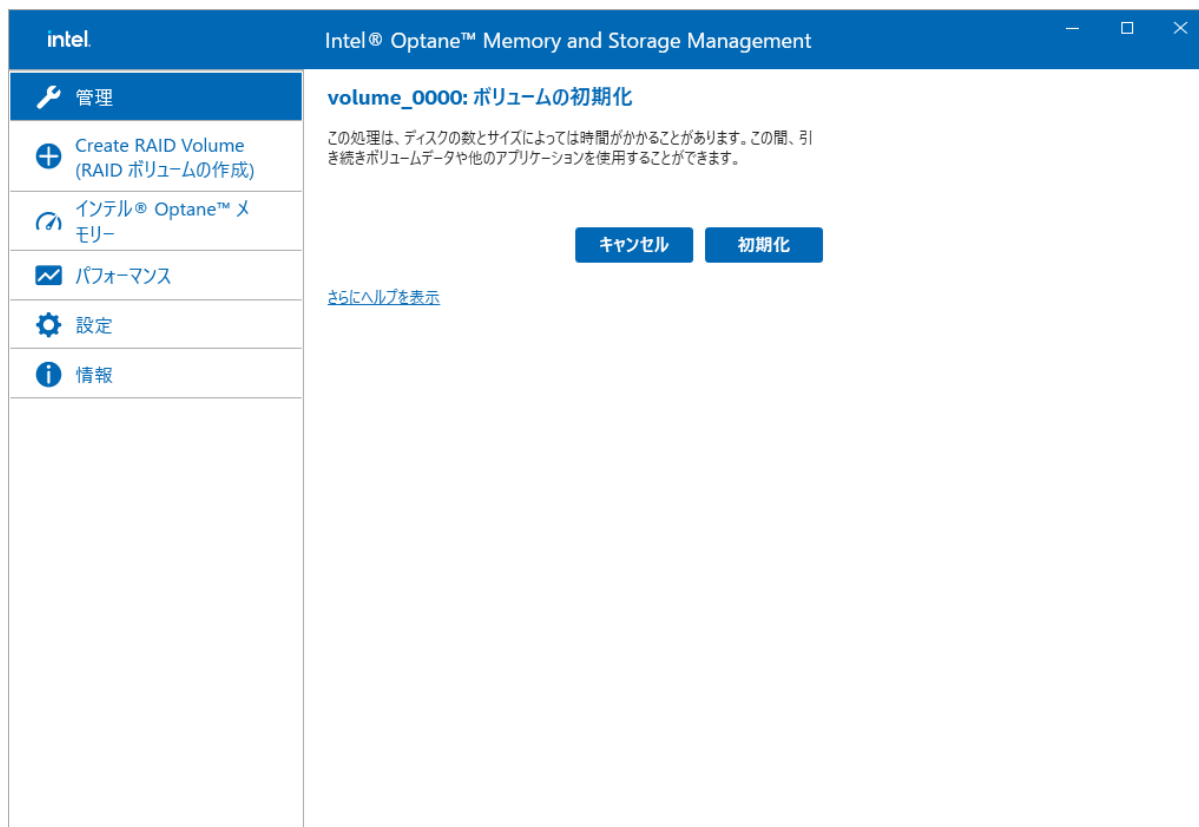
1. [管理]メニューから、初期化したいボリューム(赤枠部分)を選択します。



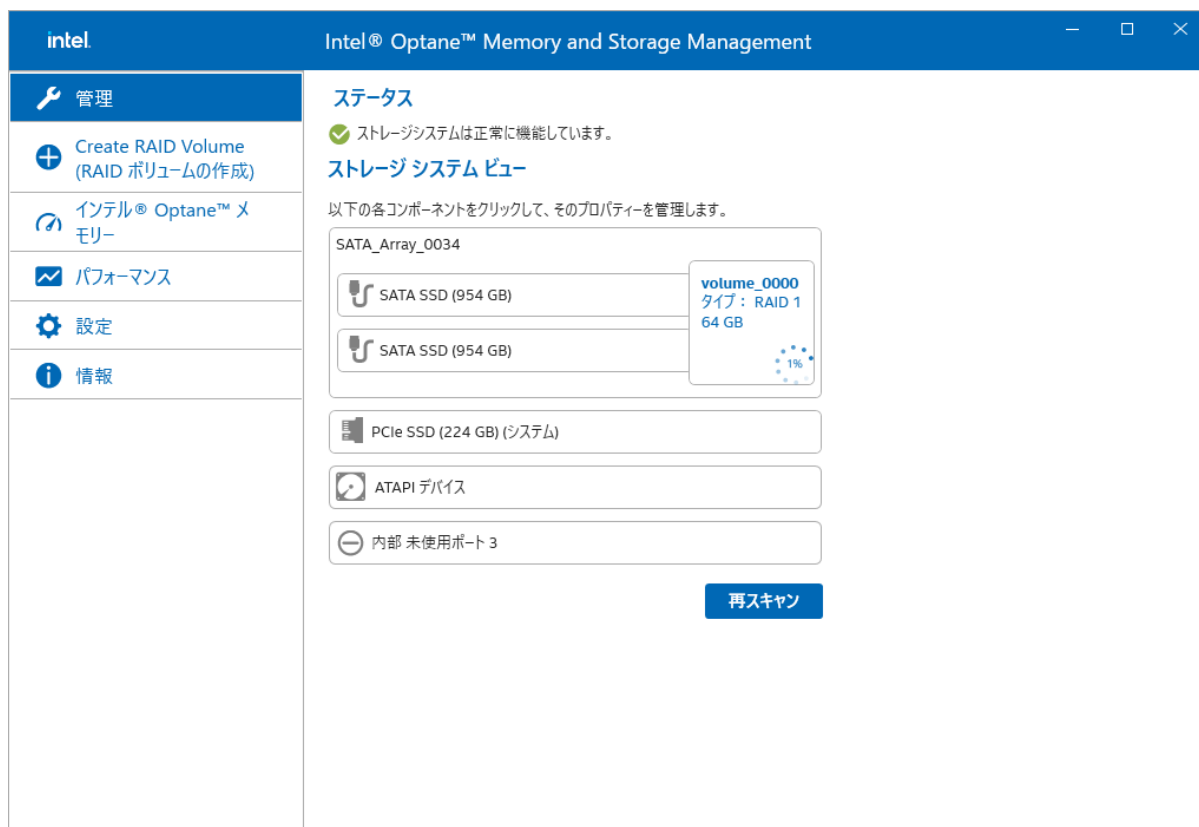
2. ボリュームの右に表示されたメニュー内から[初期化]（赤矢印部分）を選択します。



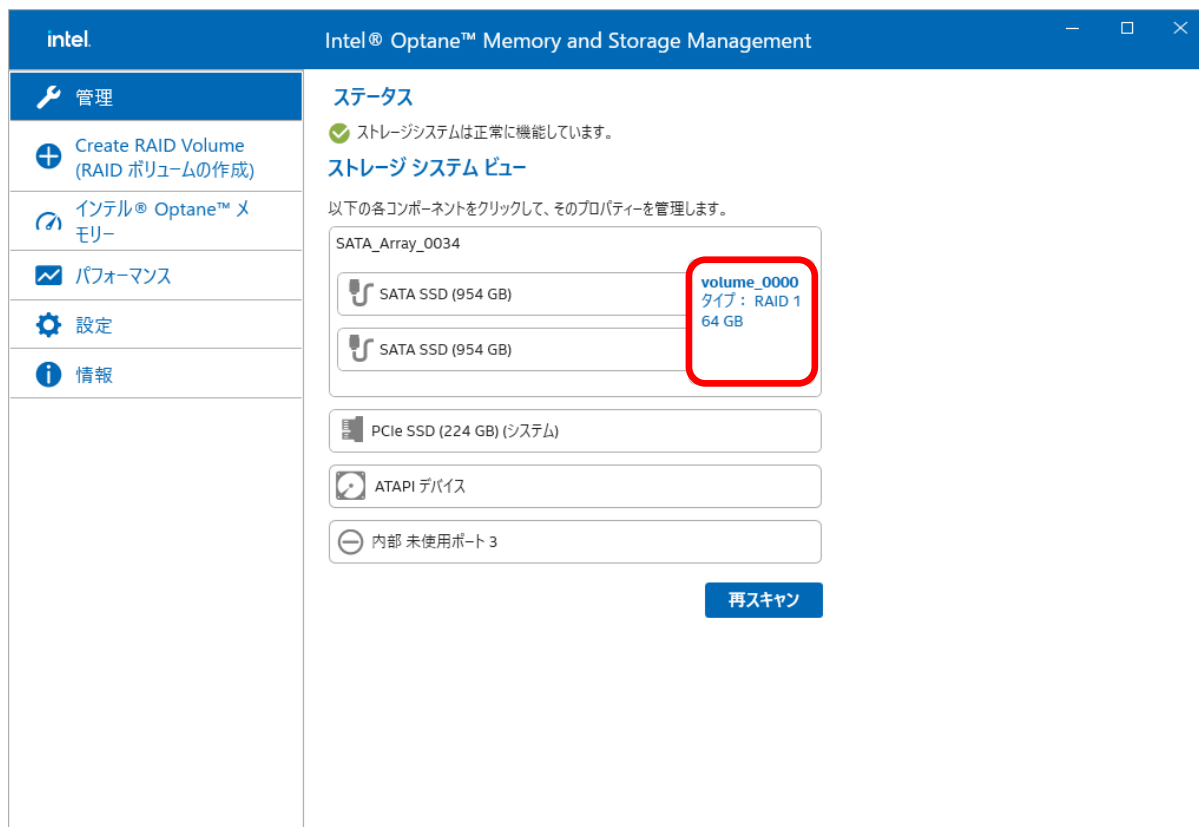
3. [初期化]を選択してボリュームの初期化を開始します。



4. GUI が[管理]メニューに遷移します。初期化の進捗が表示されます(赤矢印部分)。



5. 初期化が完了したことを確認するには、初期化したいボリューム(赤枠部分)を選択します。



6. ボリュームの右に表示されたメニュー内の [初期化:] (赤矢印部分) が [はい] になっていることを確認します。

The screenshot displays the Intel Optane Memory and Storage Management interface. On the left is a navigation pane with options: 管理 (Management), Create RAID Volume (RAID ボリュームの作成), インテル® Optane™ メモリー (Intel® Optane™ Memory), パフォーマンス (Performance), 設定 (Settings), and 情報 (Information). The main area is titled 'ステータス' (Status) and 'ストレージ システム ビュー' (Storage System View). It shows a list of storage components under 'SATA_Array_0034': two SATA SSDs (954 GB) associated with 'volume_0000' (RAID 1, 64 GB), a PCIe SSD (224 GB) (システム) (System), an ATAPI デバイス (ATAPI Device), and three internal unused ports (内部 未使用ポート 3). A '再スキャン' (Rescan) button is at the bottom right of this list. A detailed view for 'volume_0000' is shown on the right, with a red arrow pointing to the '初期化: はい' (Initialize: Yes) status. Other details include: ステータス: 正常 (Status: Normal), システムボリューム: いいえ (System Volume: No), タイプ: RAID 1 (Type: RAID 1), サイズ: 64 GB (Size: 64 GB), and a toggle for '書き込みキャッシュバッファのフラッシュ' (Write Cache Buffer Flush) set to '有効' (Enabled). Cache mode is '読み取り専用' (Read-only) and data stripe size is 64 KB.

intel Intel® Optane™ Memory and Storage Management

管理

Create RAID Volume (RAID ボリュームの作成)

インテル® Optane™ メモリー

パフォーマンス

設定

情報

ステータス

✓ ストレージシステムは正常に機能しています。

ストレージ システム ビュー

以下の各コンポーネントをクリックして、そのプロパティを管理します。

SATA_Array_0034

SATA SSD (954 GB) volume_0000
タイプ: RAID 1
64 GB

SATA SSD (954 GB)

PCIe SSD (224 GB) (システム)

ATAPI デバイス

内部 未使用ポート 3

再スキャン

volume_0000

ステータス: 正常
システムボリューム: いいえ
初期化: はい
[ボリューム名の変更](#)
[ボリュームの削除](#)
[ボリュームの検証](#)

タイプ: RAID 1
[タイプの変更](#)

サイズ: 64 GB
[サイズの増加](#)

書き込みキャッシュバッファのフラッシュ:
☒ 有効

キャッシュモード: 読み取り専用
[キャッシュモードの変更](#)

データストライプサイズ: 64 KB
物理セクターサイズ: 512 Bytes
論理セクターサイズ: 512 Bytes

ボリュームサイズの増加

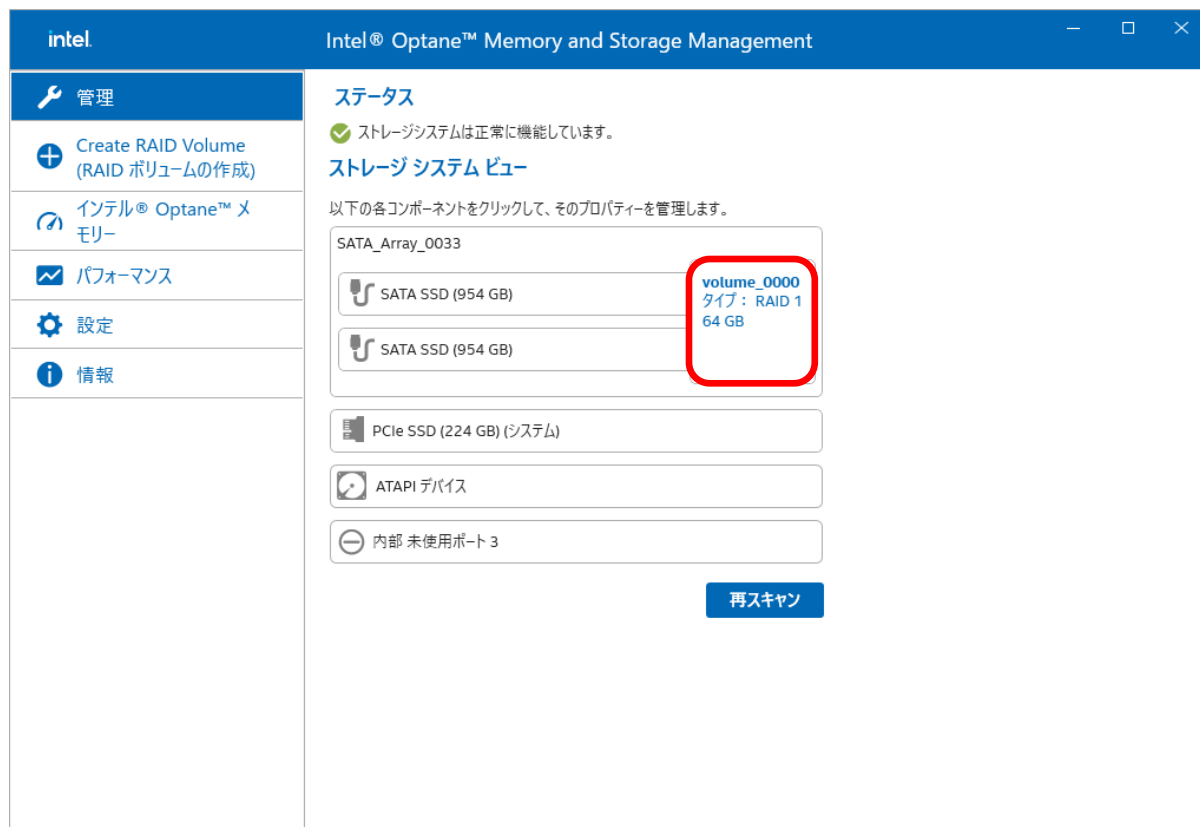
次の手順で、ボリュームサイズを増やします。



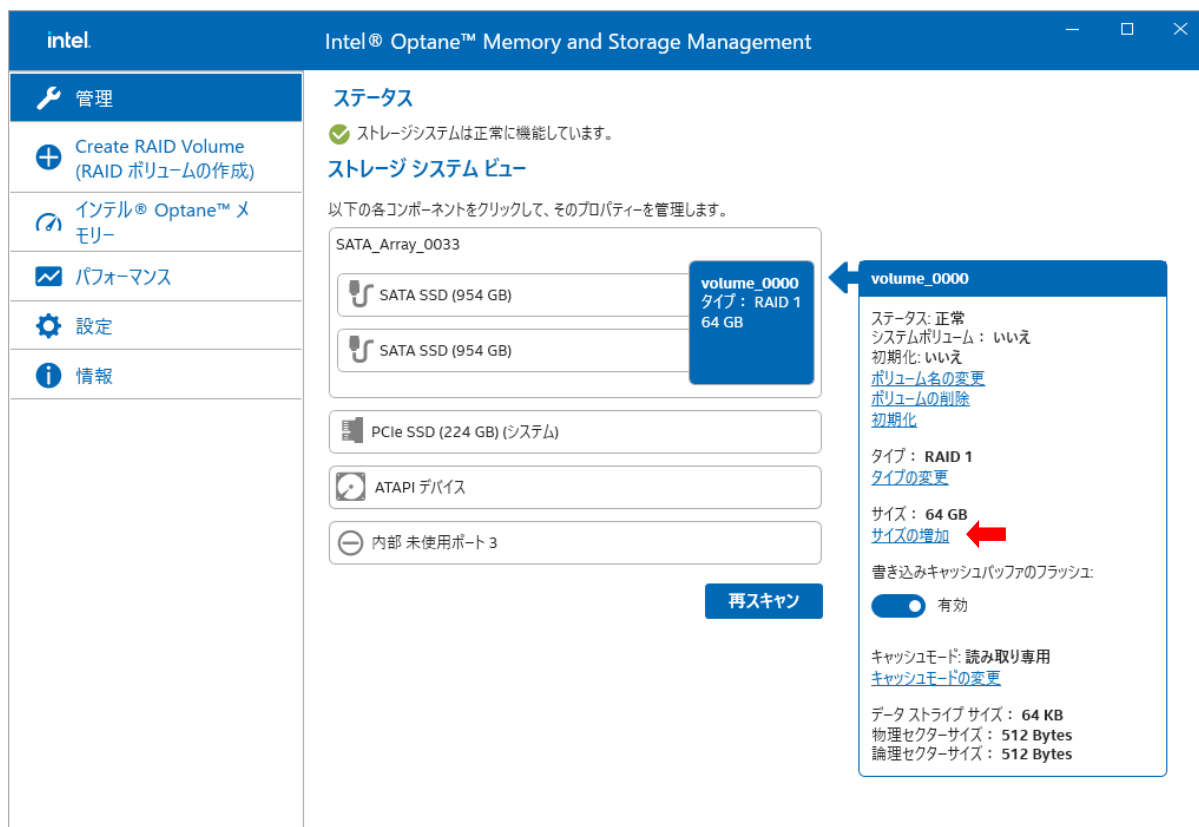
注記:

アレイの使用可能な容量が十分大きいときに、ボリュームサイズを増加できます。

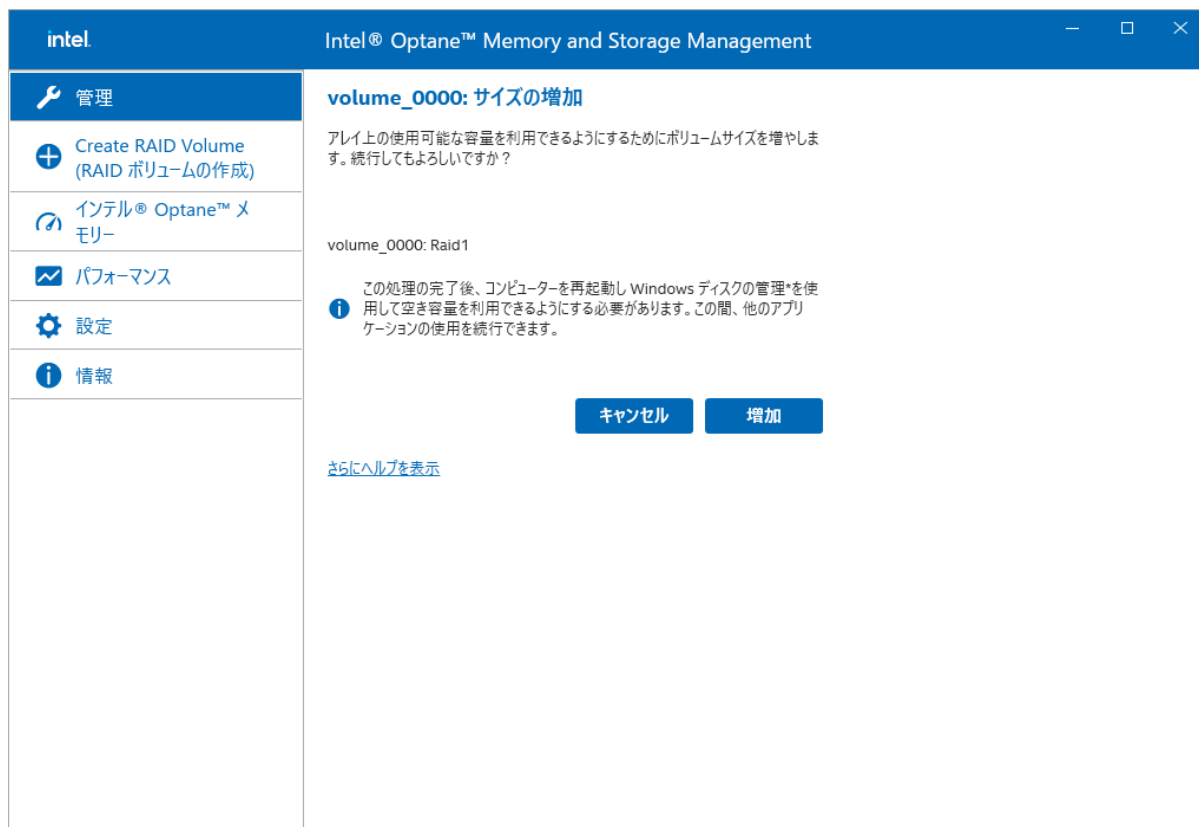
1. [\[管理\]](#)メニューから、ボリュームサイズを増加させたいアレイ(赤枠部分)を選択します。



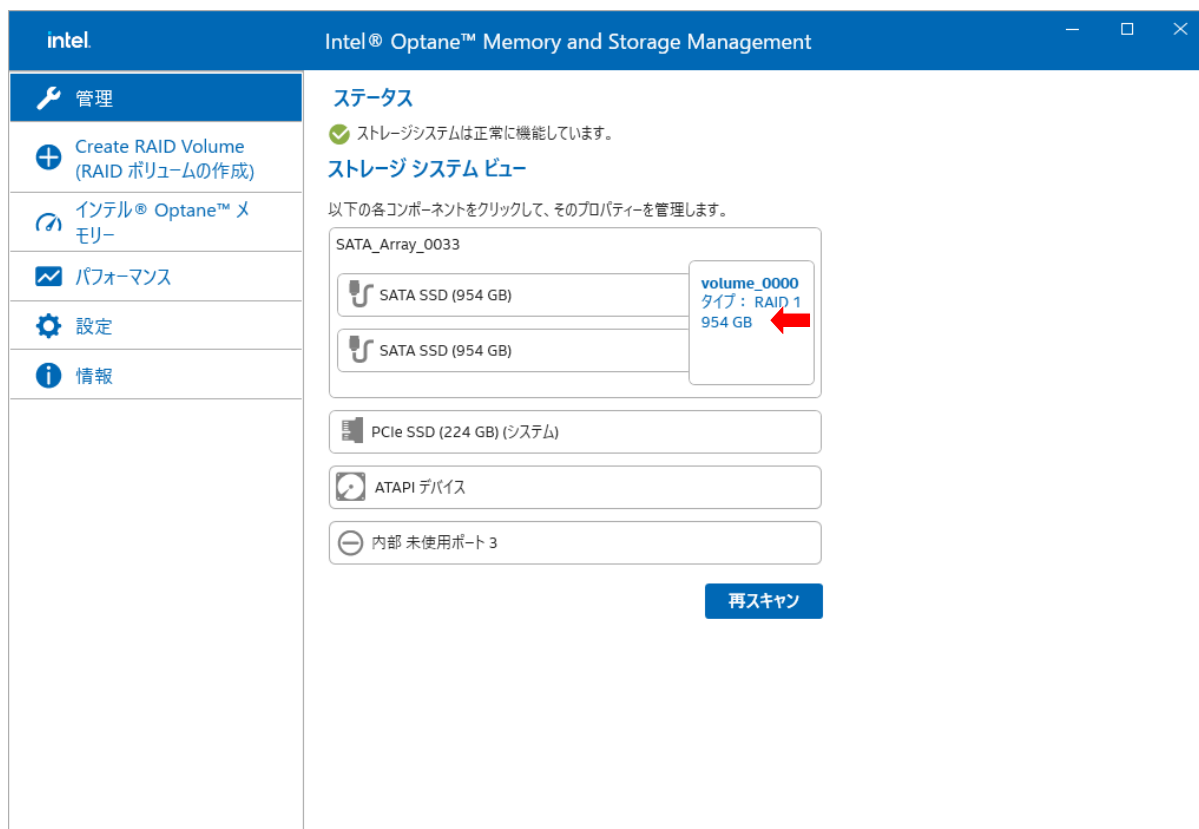
2. ボリュームの右に表示されたメニュー内から[サイズの増加]を選択します(赤矢印部分)。



3. [増加]を選択してボリュームサイズを増やします。



4. GUI が[管理]メニューに遷移します。ボリュームサイズが増加します(赤矢印部分)。



ボリュームの削除

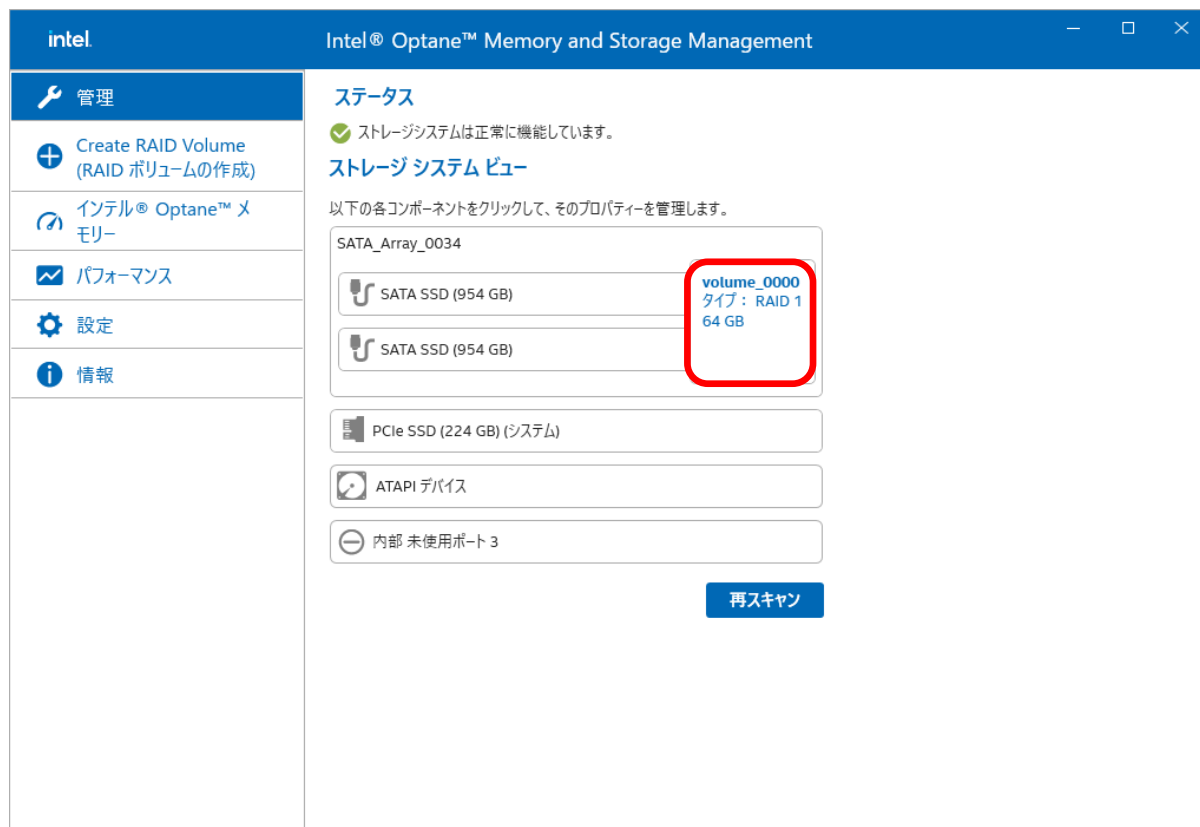
次の手順で、ボリュームを削除します。



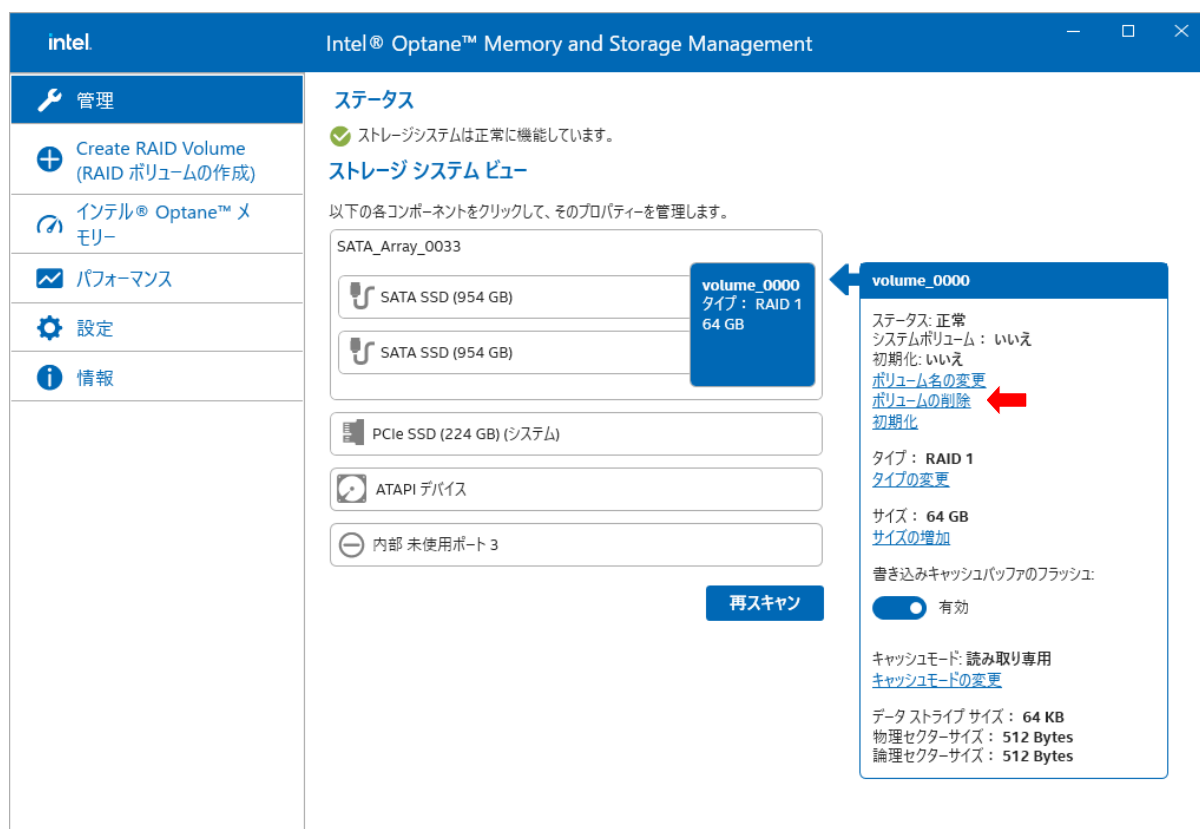
注記:

データは回復できなくなるため、ボリュームの削除は慎重に行ってください。

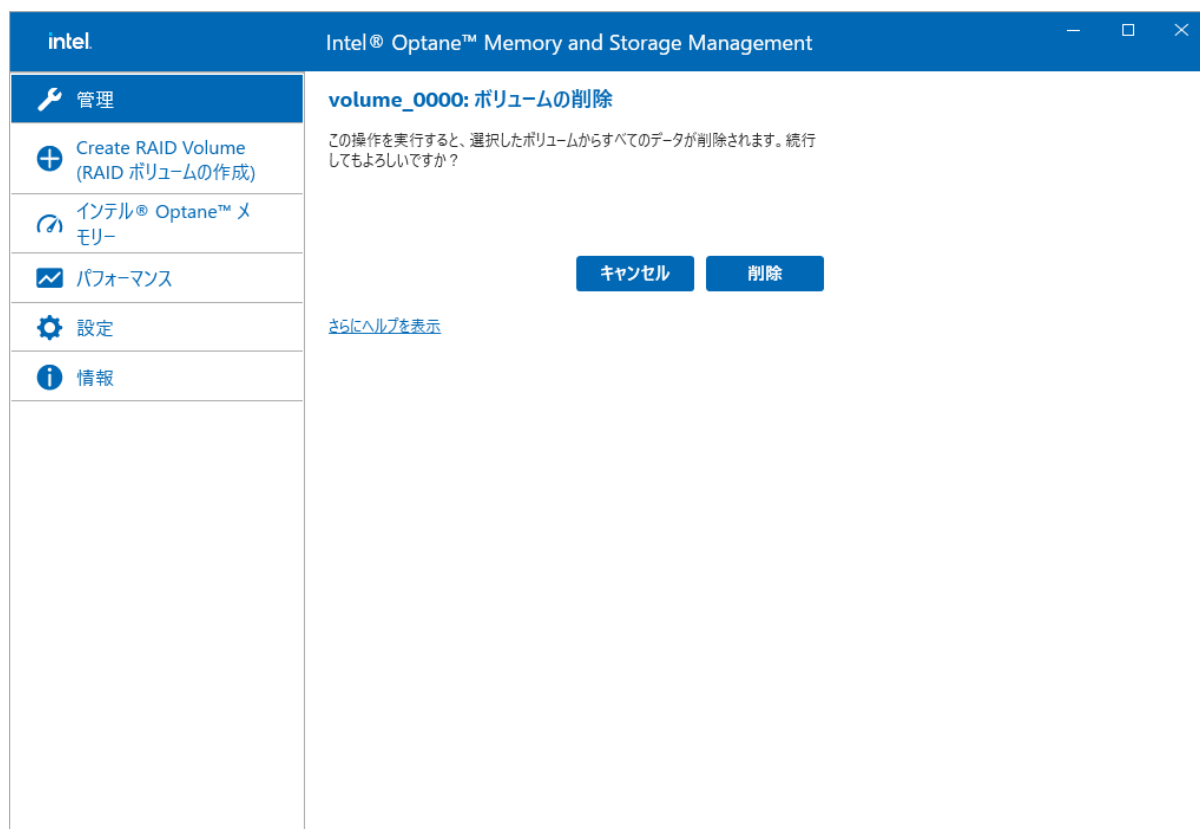
1. [\[管理\]](#)メニューから、削除したいボリューム(赤枠部分)を選択します。



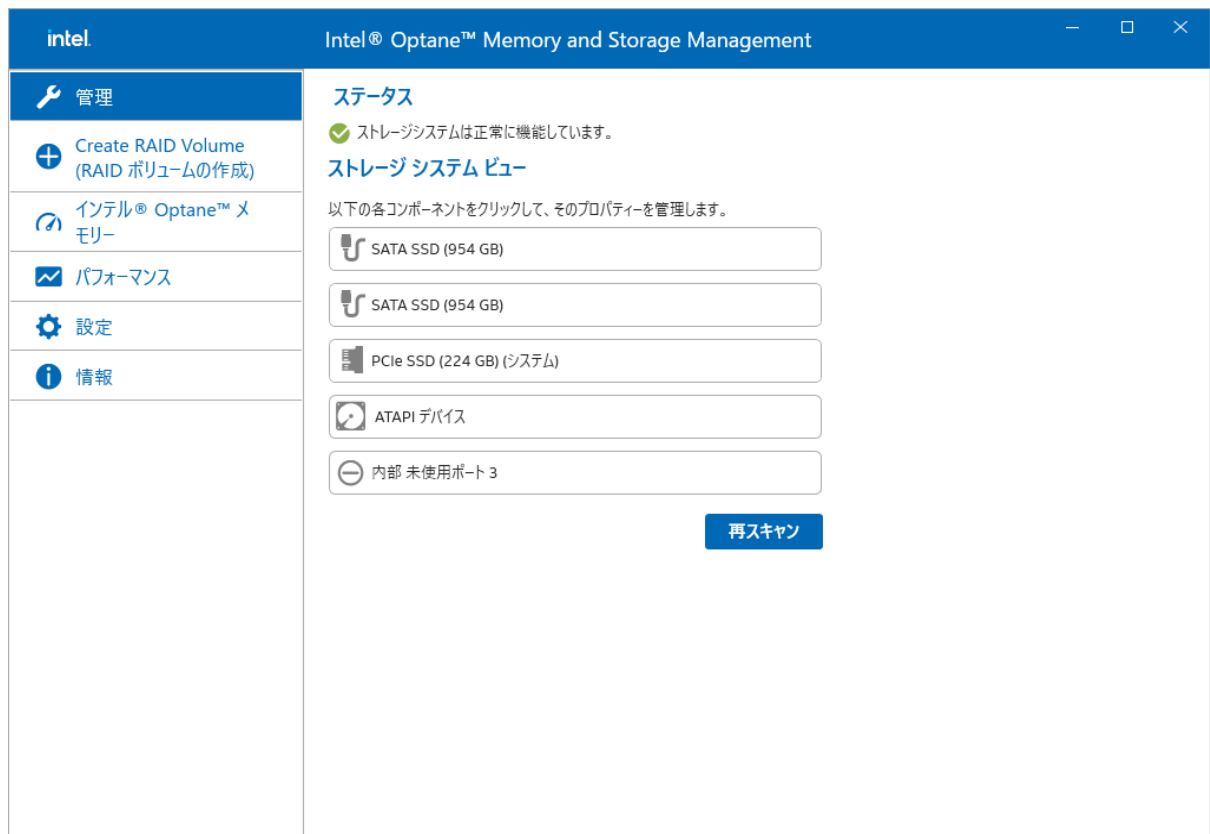
2. ボリュームの右に表示されたメニュー内から[ボリュームの削除]（赤矢印部分）を選択します。



3. [削除]を選択してボリュームを削除します。



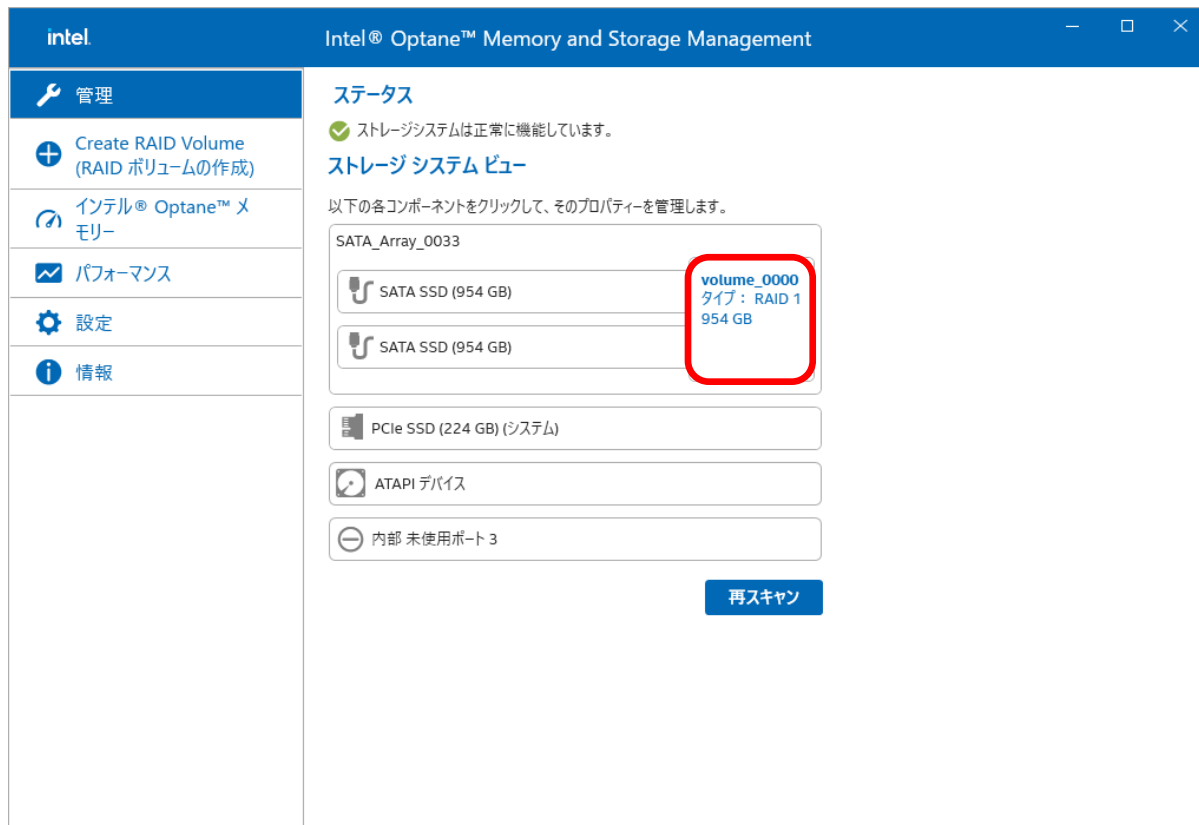
4. GUI が[管理]メニューに遷移します。ボリュームが削除されます。



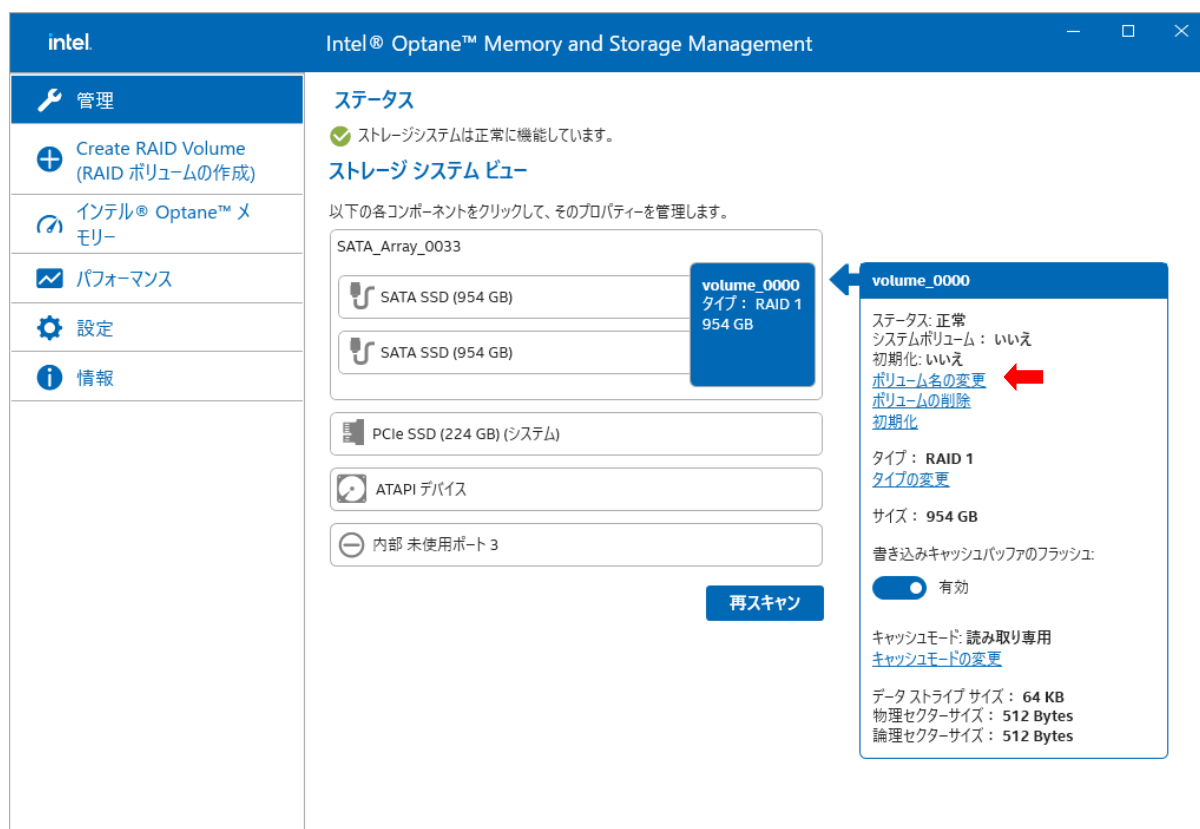
ボリューム名の変更

次の手順で、ボリューム名を変更します。

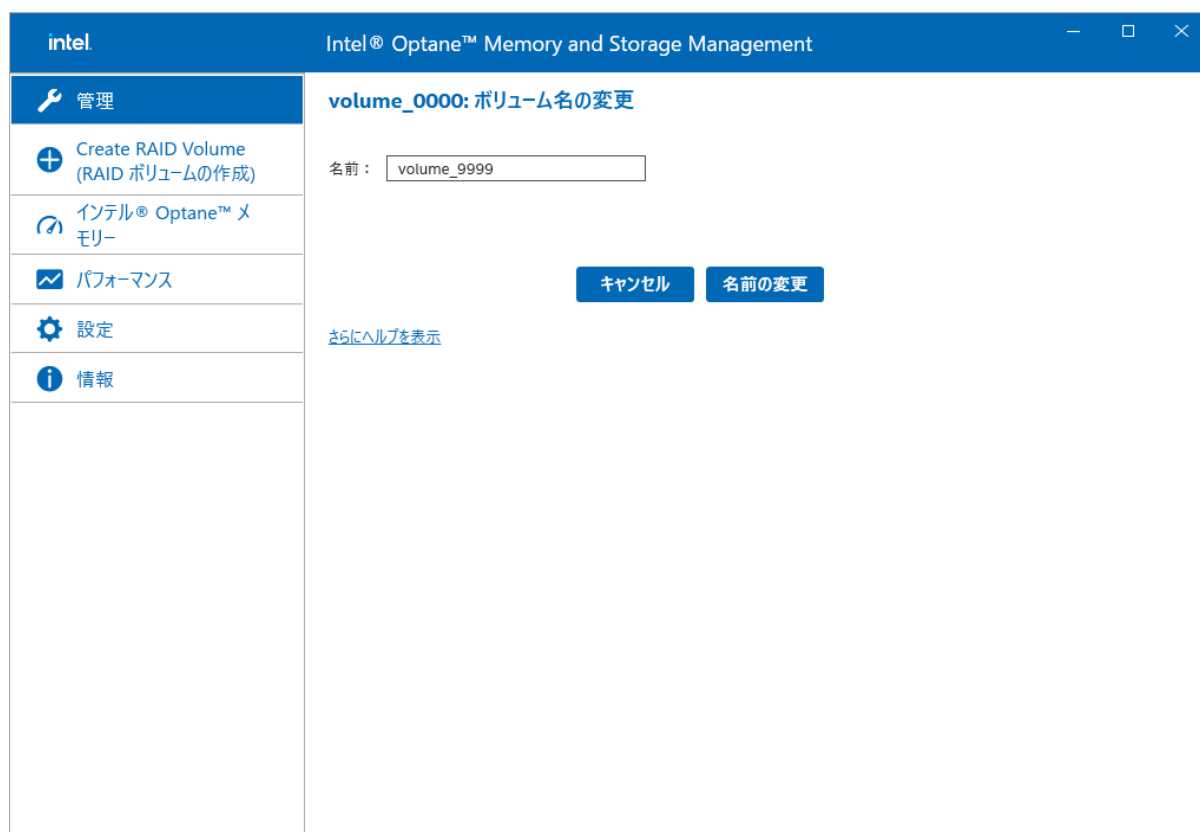
1. [\[管理\]](#)メニューから、ボリューム名を変更したいボリューム(赤枠部分)を選択します。



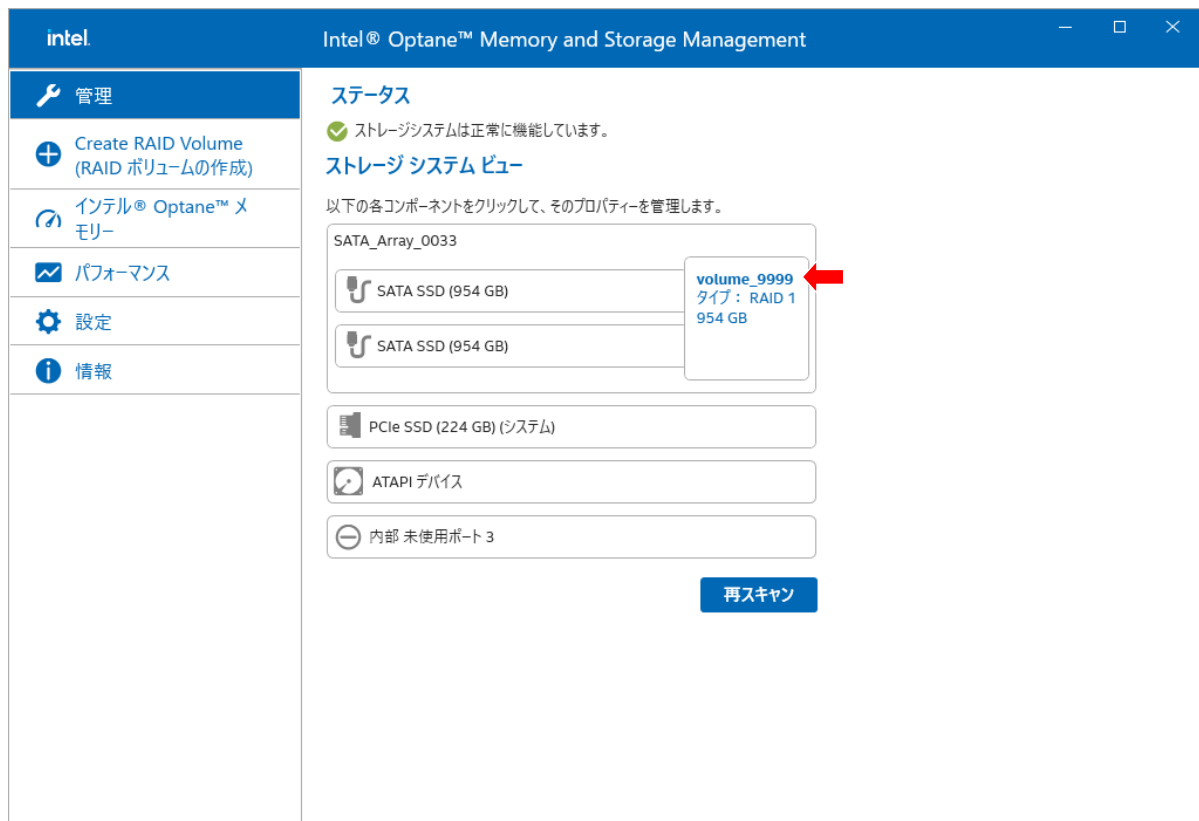
2. ボリュームの右に表示されたメニュー内から[ボリューム名の変更] (赤矢印部分)を選択します。



3. [名前:]で新しいボリューム名を指定します。
[名前の変更]を選択してボリューム名を変更します。



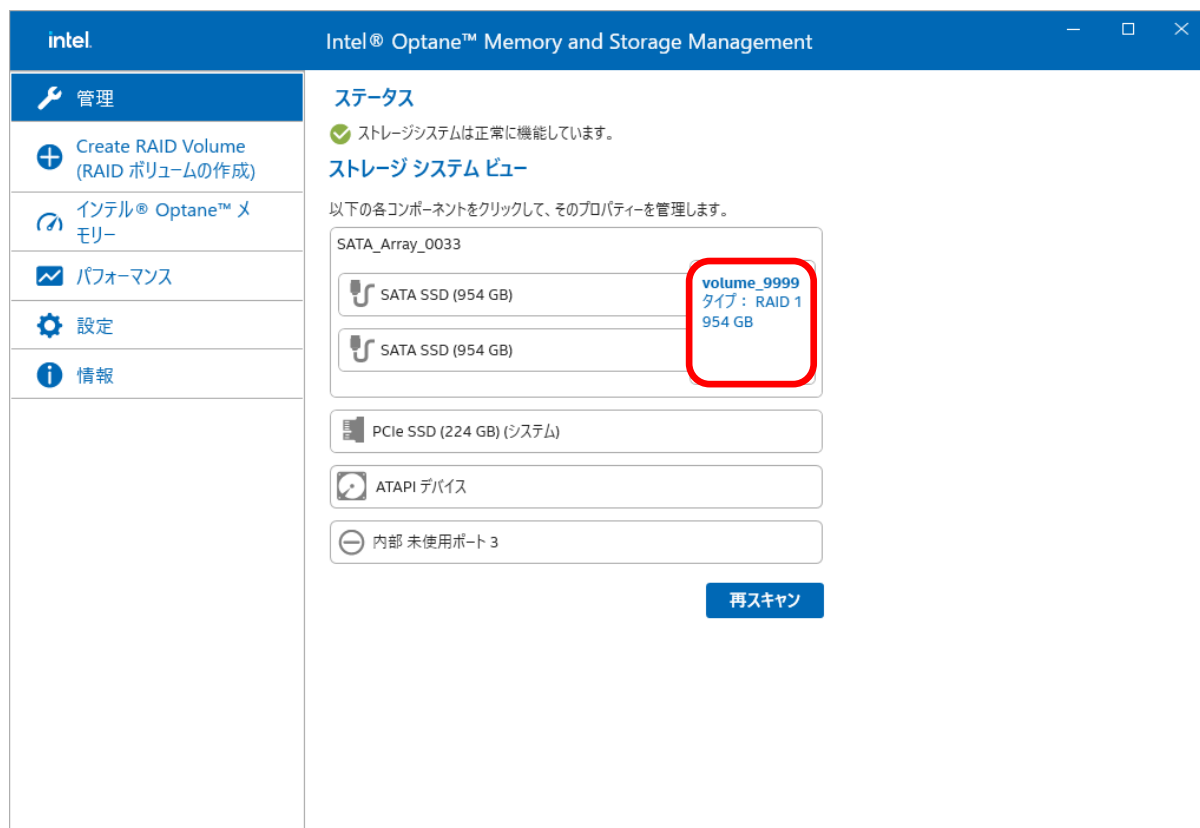
4. GUI が[管理]メニューに遷移します。ボリューム名が変更されます(赤矢印部分)。



キャッシュモードの変更

次の手順で、キャッシュモードを変更します。

1. [\[管理\]](#)メニューから、キャッシュモードを変更したいボリューム(赤枠部分)を選択します。



2. ボリュームの右に表示されたメニュー内から[キャッシュモードの変更]（赤矢印部分）を選択します。

intel. Intel® Optane™ Memory and Storage Management

管理

Create RAID Volume (RAID ボリュームの作成)

インテル® Optane™ メモリー

パフォーマンス

設定

情報

ステータス

✓ ストレージシステムは正常に機能しています。

ストレージ システム ビュー

以下の各コンポーネントをクリックして、そのプロパティを管理します。

SATA_Array_0033

SATA SSD (954 GB) volume_9999
タイプ: RAID 1
954 GB

SATA SSD (954 GB)

PCIe SSD (224 GB) (システム)

ATAPI デバイス

内部 未使用ポート 3

再スキャン

volume_9999

ステータス: 正常
システムボリューム: いいえ
初期化: いいえ
[ボリューム名の変更](#)
[ボリュームの削除](#)
[初期化](#)

タイプ: RAID 1
[タイプの変更](#)

サイズ: 954 GB

書き込みキャッシュバッファのフラッシュ:

☒ 有効

キャッシュモード: 読み取り専用
[キャッシュモードの変更](#)

データ ストライプ サイズ: 64 KB
物理セクターサイズ: 512 Bytes
論理セクターサイズ: 512 Bytes

3. 変更したいキャッシュモードを選択します。
[変更の保存]を選択して、キャッシュモードを変更します。



注記:

[ライトバック]を選択できない場合は、[\[キャッシュモードをライトバックに変更\]](#)を参照してください。

intel

Intel® Optane™ Memory and Storage Management

管理

Create RAID Volume
(RAID ボリュームの作成)

インテル® Optane™ メモリー

パフォーマンス

設定

情報

volume_9999: 変更の保存

アレイ上の揮発性のボリュームキャッシュにキャッシュモードを設定して、最適なパフォーマンスを達成します。

☐ ライトバック

☒ ライトスルー

☐ 読み取り専用

☐ オフ

このキャッシュモードでは、システムが、データはディスクに安全に書き込まれた後のみ使用できると想定するので、データのセキュリティが高まります。データは常に、キャッシュされると同時にディスクに書き込まれます。

警告

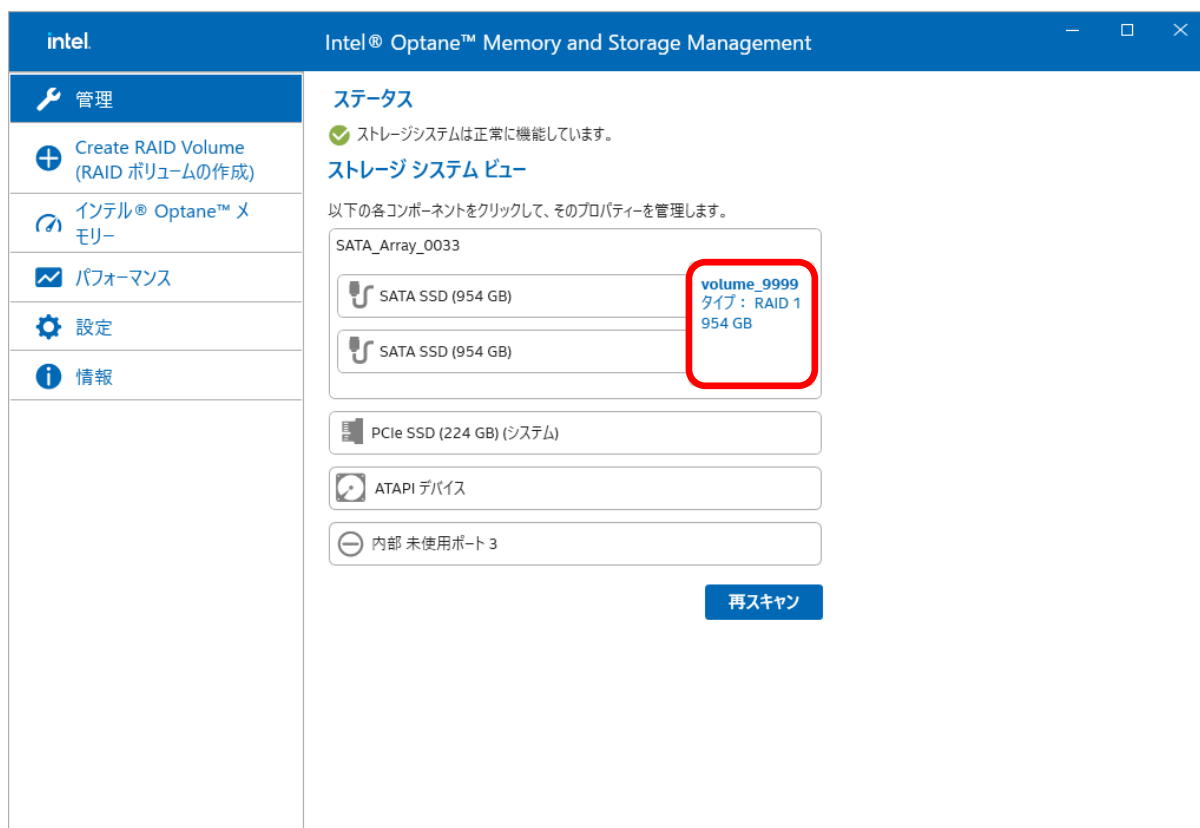
この機能はアレイのパフォーマンスを全体的に大きく向上させますが、特殊な条件下ではキャッシュされたデータが失われる可能性があります。

さらにヘルプを表示

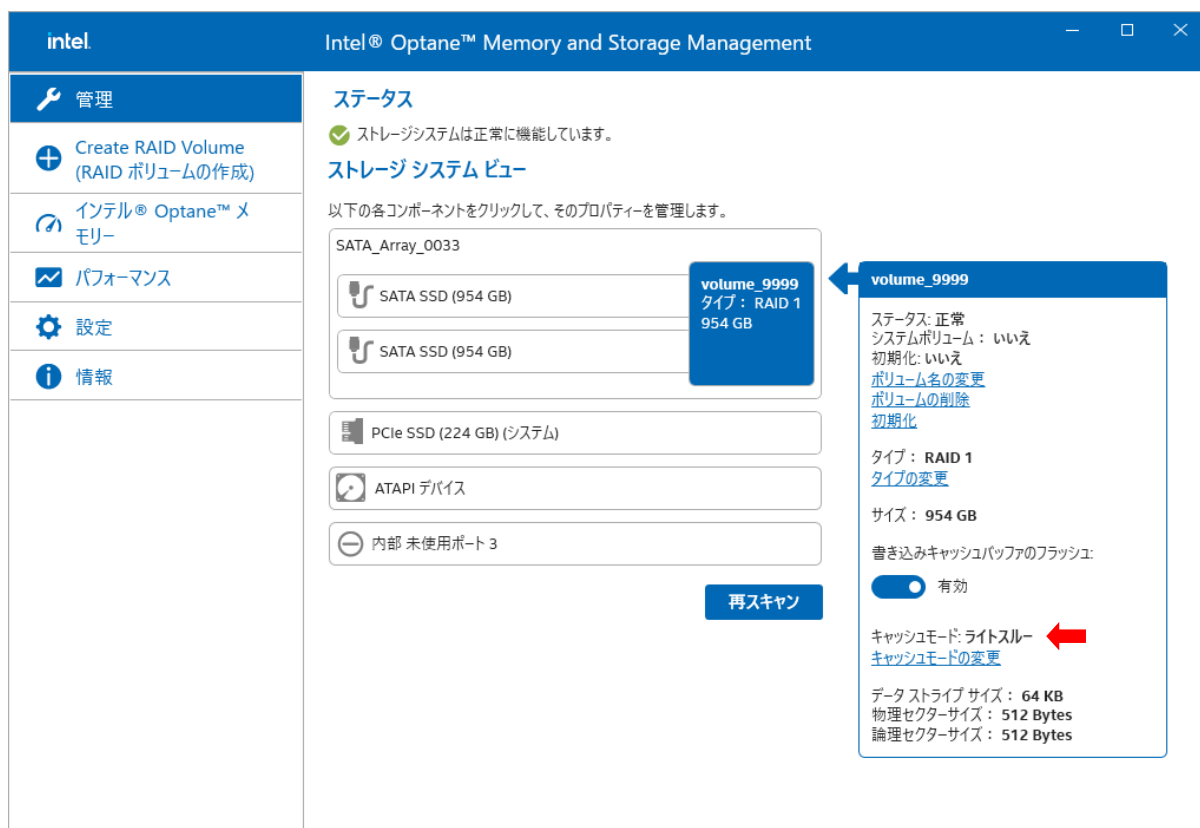
キャンセル

変更の保存

4. GUI が[管理]メニューに遷移します。
変更したボリュームのキャッシュモードを確認するには、キャッシュモードを変更したいボリューム(赤枠部分)を選択します。



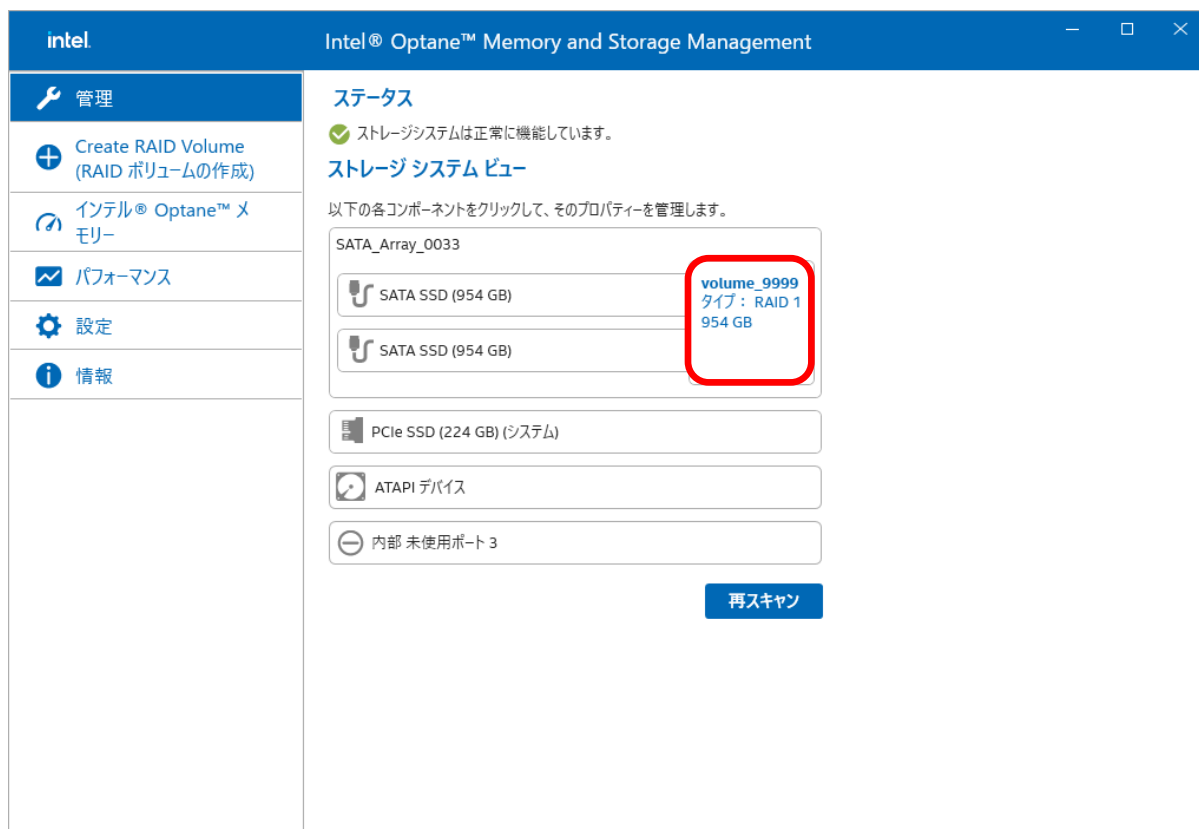
5. ボリュームの右に表示されるメニュー内の[キャッシュモード:] (赤矢印部分)が
変更したいキャッシュモードになっていることを確認します。



キャッシュモードをライトバックに変更

次の手順で、これらのキャッシュモードに変更します。

1. [\[管理\]](#)メニューから、キャッシュモードを変更したいボリューム(赤枠部分)を選択します。



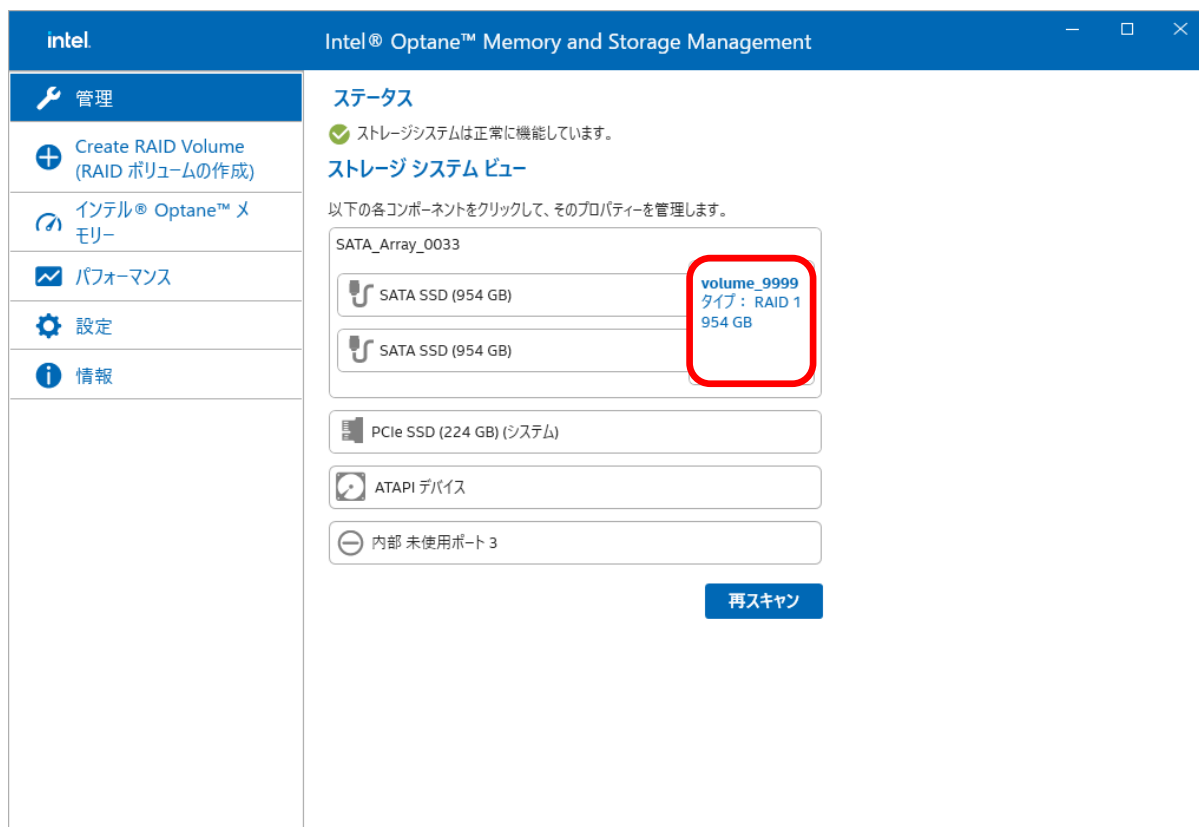
2. ボリュームの右に表示されたメニュー内から[書き込みキャッシュバッファのフラッシュ:] (赤矢印部分)を選択して無効にします。



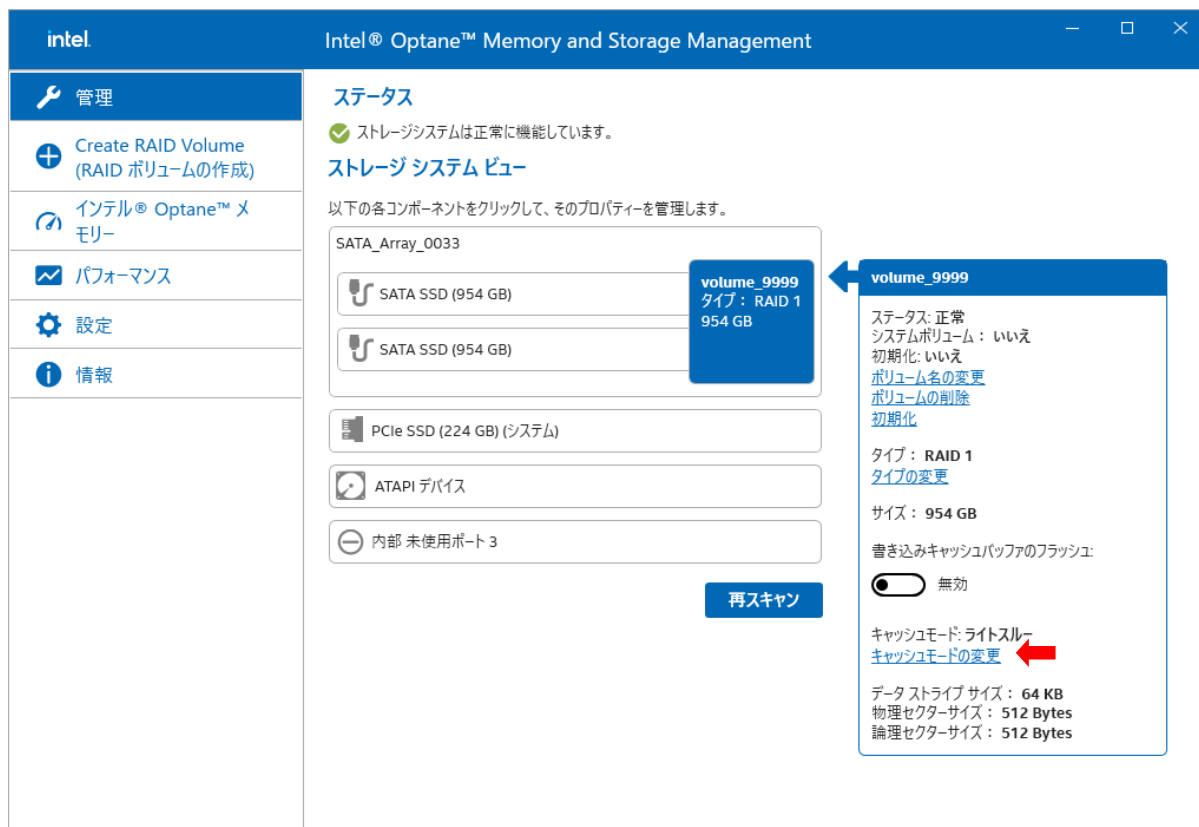
注記:

[書き込みキャッシュバッファのフラッシュ:]に[無効]と表示されている場合、この手順は不要です。
4以降の手順に従ってください。

3. GUI が[管理]メニューに遷移します。キャッシュモードを変更したいボリューム(赤枠部分)を選択します。



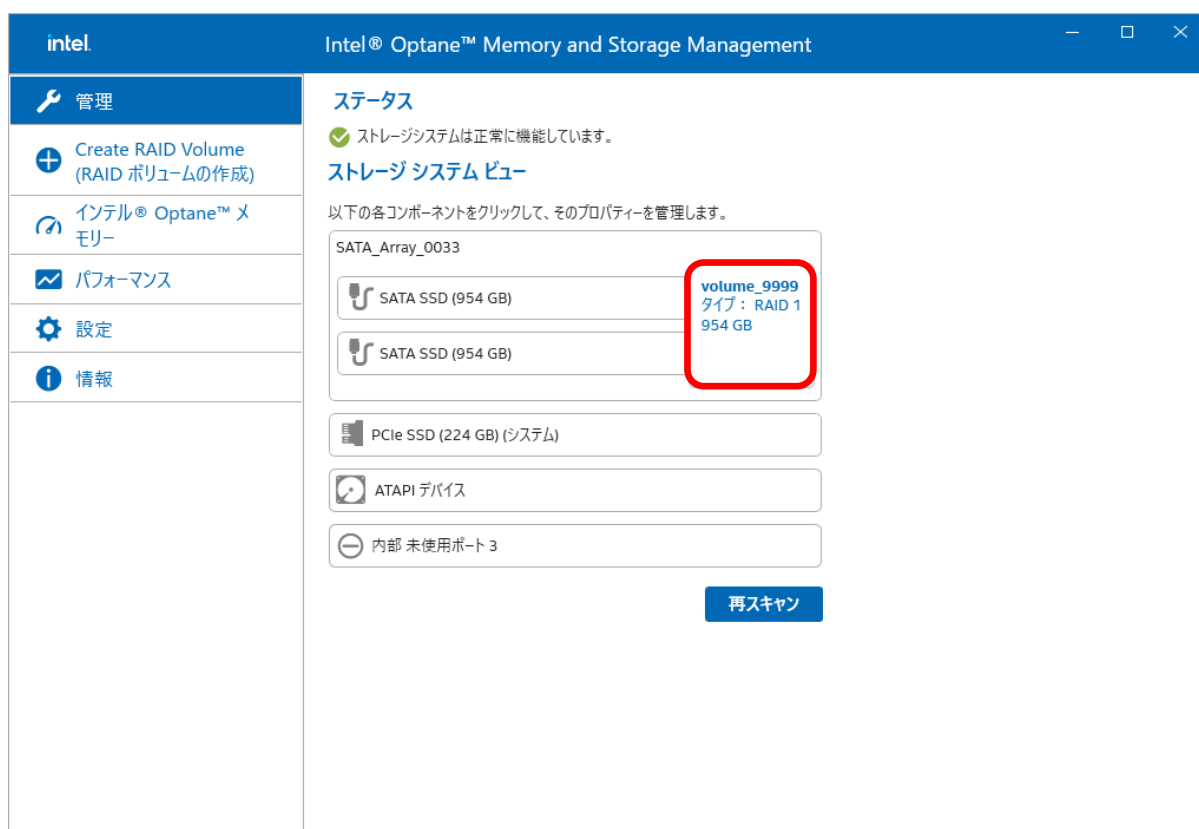
4. ボリュームの右に表示されたメニュー内から[キャッシュモードの変更] (赤矢印部分)を選択します。



5. [ライトバック]を選択します。[変更の保存]を選択して、キャッシュモードをライトバックに変更します。



6. GUI が[管理]メニューに遷移します。
変更されたキャッシュモードを確認するには、キャッシュモードを変更したいボリューム(赤枠部分)を選択します。



7. ボリュームの右に表示されたメニュー内の[キャッシュモード:] (赤矢印部分)が[ライトバック]になっていることを確認します。

intel Intel® Optane™ Memory and Storage Management

管理

Create RAID Volume (RAID ボリュームの作成)

インテル® Optane™ メモリー

パフォーマンス

設定

情報

ステータス

✓ ストレージシステムは正常に機能しています。

ストレージ システム ビュー

以下の各コンポーネントをクリックして、そのプロパティを管理します。

SATA_Array_0033

SATA SSD (954 GB)

SATA SSD (954 GB)

PCIe SSD (224 GB) (システム)

ATAPI デバイス

内部 未使用ポート 3

再スキャン

volume_9999

タイプ: RAID 1
954 GB

volume_9999

ステータス: 正常
システムボリューム: いいえ
初期化: いいえ
[ボリューム名の変更](#)
[ボリュームの削除](#)
[初期化](#)

タイプ: RAID 1
[タイプの変更](#)

サイズ: 954 GB

書き込みキャッシュバッファのフラッシュ:

☐ 無効

キャッシュモード: ライトバック
[キャッシュモードの変更](#)

データ ストライプ サイズ: 64 KB
物理セクターサイズ: 512 Bytes
論理セクターサイズ: 512 Bytes

メール通知を有効にする

次の手順でメール通知を有効にします。



注記:

メール通知機能は、Intel Optane Memory and Storage Management 画面での RAID 状況確認が必要となるため推奨しません。

1. [設定]メニューから、[メール通知]の[設定]を選択します。



2. [SMTP の構成]の各フィールドを設定してください。

intel Intel® Optane™ Memory and Storage Management

管理

Create RAID Volume (RAID ボリュームの作成)

インテル® Optane™ メモリー

パフォーマンス

設定

情報

SMTP の構成

差出人の電子メールアドレス

SMTP ホスト

ポート (デフォルト: 25)

宛先電子メールアドレス

宛先電子メールアドレス

宛先電子メールアドレス

テスト通知を送信

通知設定

次の通知を送信:

☐ インテル® Optane™ メモリー

☐ RAID ボリューム

☐ バススルーディスク

次のイベントに関して:

☐ 情報

☐ 警告

☐ エラー

戻る 設定を保存

3. [設定を保存]を選択して、設定を保存します。

intel Intel® Optane™ Memory and Storage Management

管理

Create RAID Volume (RAID ボリュームの作成)

インテル® Optane™ メモリー

パフォーマンス

設定

情報

SMTP の構成

xxx@xxx.com

smtp.xxx.com

25

yyy@yyy.com

宛先電子メールアドレス

宛先電子メールアドレス

テスト通知を送信

通知設定

次の通知を送信:

☐ インテル® Optane™ メモリー

☒ RAID ボリューム

☐ バススルーディスク

次のイベントに関して:

☐ 情報

☒ 警告

☒ エラー

戻る 設定を保存

4. [メール通知]が有効になります。



注記:

メール通知機能をご使用時にメール通知を受信した場合は、メール内容だけでなく、Intel Optane Memory and Storage Management 画面にて RAID 状況をご確認ください。

障害通知

障害通知

Intel Optane Memory and Storage Management が管理する物理デバイスおよび論理ドライブで発生する重要なイベントは、ESMPRO/ServerManager ヘアラートとして送信します。

通知メッセージ

アラートのソース、タイプ

ソース	タイプ
RST Middleware	RST

イベント一覧

イベント内容	イベント ID	種類	処置内容
物理デバイス致命的エラー	157	警告	物理デバイスを交換してください。
S.M.A.R.T.エラー	7002	警告	物理デバイスを交換してください。
論理ドライブオフライン	7205	警告	故障した物理デバイスを交換してください。交換後、論理ドライブを作成しなおし、バックアップからデータを復旧してください。
論理ドライブ縮退	7206	警告	ホットスペアを用意していれば自動的にリビルドを実行します。ホットスペアを用意していなければ、故障した物理デバイスを交換してください。交換後、リビルドしてください。

改版履歴

版数	発行年月	改版内容
2 版	2024 年 2 月	注意事項を追記
1 版	2023 年 10 月	新規発行